

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年01週(01月02日～01月08日)

○ 山梨県内流行情報

1週の山梨県の状況は、インフルエンザが52週(1.38)から1週(1.6)とほぼ横ばいです。今後、流行が拡大する恐れがあるため、室内の換気などを心がけ、手洗い・うがいを励行し、体調管理に注意しましょう。

○ 富士・東部管内流行情報

インフルエンザの定点報告数が1.0を超え、管内でも流行期に入りました。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	17862	3.81	2338	0.78	720	0.24	2970	0.99	22159	7.4	7573	2.53
山梨県	64	1.6	10	0.42	5	0.21	24	1	229	9.54	33	1.38
中北	18	1.38	5	0.63	1	0.13	12	1.5	80	10	16	2
中北峡北	2	0.25	-	-	-	-	4	0.8	36	7.2	11	2.2
峡東	25	3.57	-	-	-	-	1	0.25	29	7.25	-	-
峡南	6	2	-	-	-	-	-	-	5	2.5	-	-
富士・東部	13	1.44	5	1	4	0.8	7	1.4	79	15.8	6	1.2
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	604	0.2	524	0.18	1059	0.35	39	0.01	53	0.02	2064	0.69
山梨県	6	0.25	-	-	5	0.21	-	-	-	-	8	0.33
中北	3	0.38	-	-	2	0.25	-	-	-	-	2	0.25
中北峡北	1	0.2	-	-	1	0.2	-	-	-	-	3	0.6
峡東	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.5
富士・東部	1	0.2	-	-	2	0.4	-	-	-	-	2	0.4
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	7	0.01	388	0.6	6	0.01	11	0.03	487	1.13	7	0.02
山梨県	-	-	2	0.22	-	-	-	-	1	0.1	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.33	-	-
中北峡北	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(次ページあり)

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	1		52		51		50	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	横ばいです	平年並みです	1.6	64	1.38	55	0.38	15	0.08	3
RSウイルス感染症	横ばいです	平年並みです	0.42	10	0.42	10	1.33	32	1.25	30
咽頭結膜熱	減少しています	たいへん流行しています	0.21	5	0.38	9	1.04	25	0.88	21
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	横ばいです	平年並みです	1	24	1.08	26	1.21	29	1.88	45
感染性胃腸炎	横ばいです	流行しています	9.54	229	9.88	237	11.46	275	8.83	212
水痘	横ばいです	平年並みです	1.38	33	1.29	31	1.75	42	1.96	47
手足口病	横ばいです	たいへん流行しています	0.25	6	0.33	8	0.79	19	0.96	23
伝染性紅斑	—	—	—	—	0	0	0.17	4	0.04	1
突発性発疹	やや減少しています	平年並みです	0.21	5	0.33	8	0.58	14	0.33	8
百日咳	—	—	—	—	0.04	1	0	0	0.04	1
ヘルパンギーナ	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	横ばいです	平年並みです	0.33	8	0.25	6	1.21	29	0.71	17
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.22	2	0.11	1	0.44	4	1.22	11
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	0.1	1	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	やや減少しています	平年並みです	0.1	1	0.2	2	0.3	3	0.3	3
クラミジア肺炎	—	—	—	—	0.2	2	0.1	1	0.1	1

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
五類感染症	結核	富士・東部	女	11

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年02週(01月09日～01月15日)

○ 山梨県内流行情報

2週(01月09日～01月15日)の山梨県の状況は、インフルエンザが1週(1.6)から2週(4.43)と3倍近く上昇しています。学級閉鎖等の臨時休業措置も相次ぎ、流行が拡大している恐れがあるため、室内の換気などを心がけ、手洗い・うがいを励行し、体調管理に注意しましょう。

○ 富士・東部管内流行情報

管内のインフルエンザ報告数は、1週(1.4)から2週(3.1)と約2倍に増加しています。感染性胃腸炎の報告数も増加中であり、定点あたりの報告数(17.4)は県内で最も多い状況です。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点あたり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	36056	7.33	2166	0.69	735	0.23	4741	1.51	30979	9.87	6839	2.18
山梨県	177	4.43	8	0.33	6	0.25	21	0.88	293	12.21	17	0.71
中北	59	4.54	1	0.13	2	0.25	8	1	98	12.25	5	0.63
中北峡北	19	2.38	2	0.4	1	0.2	8	1.6	46	9.2	9	1.8
峡東	63	9	-	-	-	-	2	0.5	54	13.5	-	-
峡南	8	2.67	1	0.5	-	-	-	-	8	4	-	-
富士・東部	28	3.11	4	0.8	3	0.6	3	0.6	87	17.4	3	0.6
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	545	0.17	784	0.25	1790	0.57	70	0.02	56	0.02	2160	0.69
山梨県	3	0.13	2	0.08	8	0.33	-	-	1	0.04	24	1
中北	2	0.25	-	-	2	0.25	-	-	-	-	6	0.75
中北峡北	1	0.2	1	0.2	2	0.4	-	-	1	0.2	12	2.4
峡東	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-	4	1
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	1	0.2	3	0.6	-	-	-	-	2	0.4
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	8	0.01	404	0.6	5	0.01	17	0.04	432	0.93	13	0.03
山梨県	-	-	4	0.44	-	-	-	-	1	0.1	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.33	-	-
中北峡北	-	-	3	1.5	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	2		1		52		51	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	やや増加しています	平年並みです	4.43	177	1.6	64	1.38	55	0.38	15
RSウイルス感染症	減少しています	平年並みです	0.33	8	0.42	10	0.42	10	1.33	32
咽頭結膜熱	横ばいです	流行しています	0.25	6	0.21	5	0.38	9	1.04	25
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	横ばいです	平年並みです	0.88	21	1	24	1.08	26	1.21	29
感染性胃腸炎	増加しています	たいへん流行しています	12.21	293	9.54	229	9.88	237	11.46	275
水痘	減少しています	平年並みです	0.71	17	1.38	33	1.29	31	1.75	42
手足口病	やや減少しています	平年並みです	0.13	3	0.25	6	0.33	8	0.79	19
伝染性紅斑	—	—	0.08	2	—	—	0	0	0.17	4
突発性発疹	やや増加しています	平年並みです	0.33	8	0.21	5	0.33	8	0.58	14
百日咳	—	—	—	—	—	—	0.04	1	0	0
ヘルパンギーナ	—	—	0.04	1	—	—	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	増加しています	たいへん流行しています	1	24	0.33	8	0.25	6	1.21	29
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	0	0	0	0
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.44	4	0.22	2	0.11	1	0.44	4
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	0.1	1	0	0
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	横ばいです	平年並みです	0.1	1	0.1	1	0.2	2	0.3	3
クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	0.2	2	0.1	1

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
五類感染症	後天性免疫不全症候群	富士・東部	男	34
二類感染症	結核	富士・東部	女	87

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年03週(01月16日～01月22日)

○ 山梨県内流行情報

3週の山梨県の状況は、インフルエンザが2週(4.53)から3週(19.23)と4倍以上に上昇しています。学級閉鎖等の臨時休業措置も相次ぎ、流行が拡大している恐れがあるため、室内の換気などを心がけ、手洗い・うがいを励行し、体調管理に注意しましょう。

○ 富士・東部管内流行情報

管内のインフルエンザ報告数は、2週(3.1)から3週(27.2)と約9倍に増加して注意報レベルに達しており、県内で最も多い状況です。別添「インフルエンザ流行情報」をご参照ください。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	112035	22.73	2084	0.66	709	0.23	6979	2.22	35163	11.21	5147	1.64
山梨県	769	19.23	6	0.25	10	0.42	37	1.54	321	13.38	32	1.33
中北	230	17.69	3	0.38	6	0.75	21	2.63	116	14.5	8	1
中北峡北	99	12.38	1	0.2	1	0.2	8	1.6	49	9.8	16	3.2
峡東	161	23	-	-	-	-	3	0.75	70	17.5	3	0.75
峡南	34	11.33	-	-	-	-	-	-	6	3	-	-
富士・東部	245	27.22	2	0.4	3	0.6	5	1	80	16	5	1
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	612	0.2	940	0.3	1654	0.53	49	0.02	63	0.02	1567	0.5
山梨県	3	0.13	1	0.04	9	0.38	2	0.08	-	-	15	0.63
中北	2	0.25	-	-	2	0.25	2	0.25	-	-	8	1
中北峡北	1	0.2	1	0.2	4	0.8	-	-	-	-	2	0.4
峡東	-	-	-	-	2	0.5	-	-	-	-	4	1
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	1	0.2	-	-	-	-	1	0.2
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	9	0.01	355	0.53	13	0.03	14	0.03	455	0.98	14	0.03
山梨県	-	-	3	0.33	-	-	-	-	4	0.4	-	-
中北	-	-	1	0.33	-	-	-	-	4	1.33	-	-
中北峡北	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(次ページあり)

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	3		2		1		52	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	増加しています	平年並みです	19.23	769	4.53	181	1.6	64	1.38	55
RSウイルス感染症	減少しています	平年並みです	0.25	6	0.33	8	0.42	10	0.42	10
咽頭結膜熱	増加しています	たいへん流行しています	0.42	10	0.25	6	0.21	5	0.38	9
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	増加しています	平年並みです	1.54	37	0.88	21	1	24	1.08	26
感染性胃腸炎	やや増加しています	たいへん流行しています	13.38	321	12.21	293	9.54	229	9.88	237
水痘	増加しています	流行しています	1.33	32	0.71	17	1.38	33	1.29	31
手足口病	横ばいです	平年並みです	0.13	3	0.13	3	0.25	6	0.33	8
伝染性紅斑	横ばいです	平年並みです	0.04	1	0.08	2	-	-	0	0
突発性発疹	横ばいです	平年並みです	0.38	9	0.33	8	0.21	5	0.33	8
百日咳	-	-	0.08	2	-	-	-	-	0.04	1
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	0.04	1	-	-	0	0
流行性耳下腺炎	減少しています	たいへん流行しています	0.63	15	1	24	0.33	8	0.25	6
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.33	3	0.44	4	0.22	2	0.11	1
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1	1
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0
マイコプラズマ肺炎	増加しています	流行しています	0.4	4	0.1	1	0.1	1	0.2	2
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	0.2	2

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	富士・東部	男	62
二類感染症	結核	富士・東部	男	82

(別添)

平成24年1月26日
富士・東部保健所

インフルエンザ流行情報

2012年1月26日 現在

○ 山梨県内流行情報

平成24年第3週(1月16日～1月22日)の感染症発生動向調査の速報値は次のとおりです。

(速報値)インフルエンザの定点あたり報告数: 19.23人 (※)

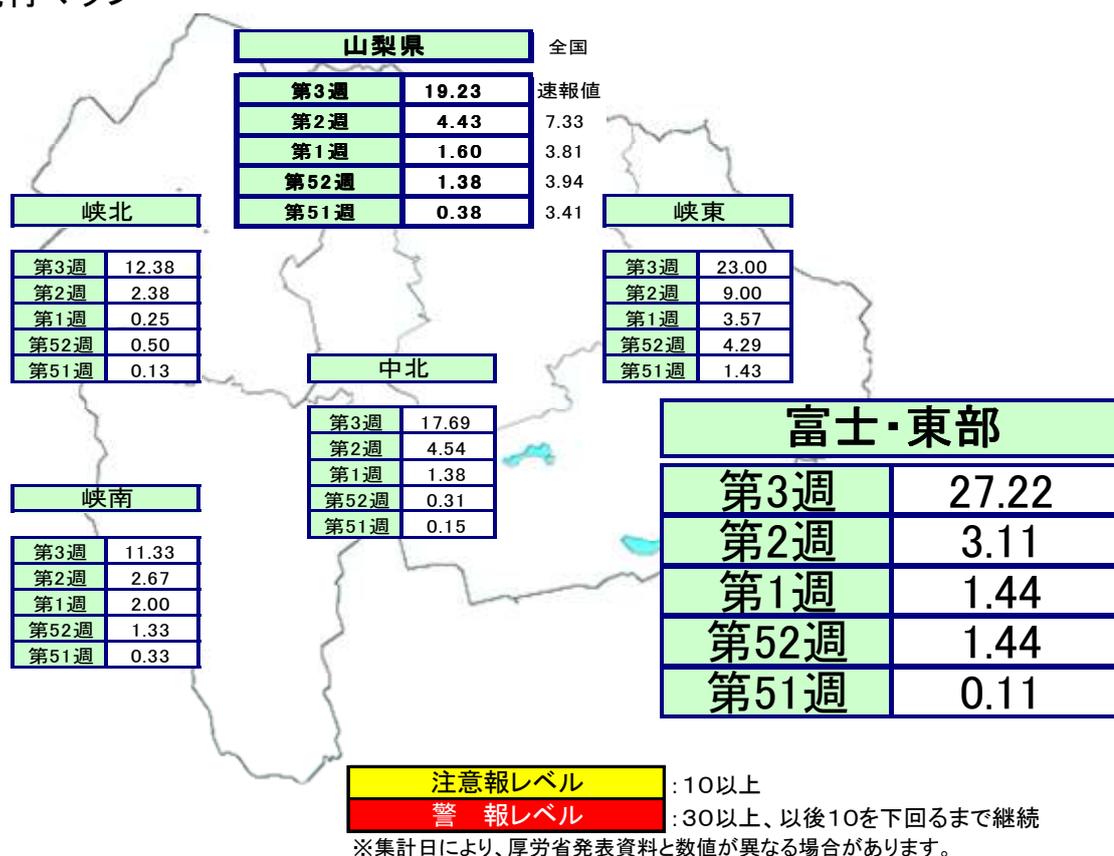
注意報レベルの10.00を上回りましたので、山梨県内はインフルエンザの注意報レベルに入ったと考えられます。

※ 定点数40医療機関の合計報告数769人 769人÷40医療機関≒19.23人

○ 富士・東部管内流行情報

管内の定点あたりの患者報告数は第3週で27.22人と県内でも最も多い状況です。

○ 県内流行マップ



○インフルエンザに関する情報は下記HPにも掲載されています。ご参考にしてください。

<http://www.pref.yamanashi.jp/kenko-zsn/87174591102.html>

(山梨県HP:インフルエンザについて)

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年04週(01月23日～01月29日)

○ 山梨県内流行情報

4週の山梨県の状況は、インフルエンザが3週(19.23)から4週(33.28)と急増が続いています。学級閉鎖等の臨時休業措置も相次ぎ、大きな流行が発生している可能性が高いため、室内の換気などを心がけ、手洗い・うがいを励行し、予防対策を心がけましょう。

○ 富士・東部管内流行情報

管内では、インフルエンザの流行が警報レベルに達しており、県内で最も多い患者報告数となっております。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	177290	35.95	2073	0.66	723	0.23	6929	2.21	28450	9.07	5202	1.66
山梨県	1331	33.28	8	0.33	7	0.29	28	1.17	222	9.25	23	0.96
中北	446	34.31	3	0.38	2	0.25	17	2.13	73	9.13	9	1.13
中北峡北	208	26	3	0.6	2	0.4	6	1.2	37	7.4	10	2
峡東	201	28.71	-	-	-	-	2	0.5	43	10.75	-	-
峡南	66	22	-	-	-	-	-	-	10	5	-	-
富士・東部	410	45.56	2	0.4	3	0.6	3	0.6	59	11.8	4	0.8
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	560	0.18	788	0.25	1562	0.5	57	0.02	53	0.02	1473	0.47
山梨県	4	0.17	5	0.21	6	0.25	-	-	-	-	19	0.79
中北	3	0.38	1	0.13	3	0.38	-	-	-	-	3	0.38
中北峡北	1	0.2	1	0.2	1	0.2	-	-	-	-	9	1.8
峡東	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-	2	0.5
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	3	0.6	1	0.2	-	-	-	-	5	1
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	3	0	370	0.55	7	0.02	5	0.01	363	0.78	11	0.02
山梨県	-	-	4	0.44	-	-	-	-	4	0.4	-	-
中北	-	-	1	0.33	-	-	-	-	3	1	-	-
中北峡北	-	-	3	1.5	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.5	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(次ページあり)

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	4		3		2		1	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	増加しています	流行しています	33.28	1331	19.23	769	4.53	181	1.6	64
RSウイルス感染症	増加しています	平年並みです	0.33	8	0.25	6	0.33	8	0.42	10
咽頭結膜熱	減少しています	たいへん流行しています	0.29	7	0.42	10	0.25	6	0.21	5
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	やや減少しています	平年並みです	1.17	28	1.54	37	0.88	21	1	24
感染性胃腸炎	減少しています	平年並みです	9.25	222	13.38	321	12.21	293	9.54	229
水痘	減少しています	平年並みです	0.96	23	1.33	32	0.71	17	1.38	33
手足口病	横ばいです	流行しています	0.17	4	0.13	3	0.13	3	0.25	6
伝染性紅斑	増加しています	平年並みです	0.21	5	0.04	1	0.08	2	-	-
突発性発疹	やや減少しています	平年並みです	0.25	6	0.38	9	0.33	8	0.21	5
百日咳	-	-	-	-	0.08	2	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	0.04	1	-	-
流行性耳下腺炎	やや増加しています	たいへん流行しています	0.79	19	0.63	15	1	24	0.33	8
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	横ばいです	流行しています	0.44	4	0.33	3	0.44	4	0.22	2
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	横ばいです	流行しています	0.4	4	0.4	4	0.1	1	0.1	1
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	中北	男	57
五類感染症	麻しん	中北	男	24
五類感染症	麻しん	峡東	女	1

(別添)

平成24年2月6日
富士・東部保健所

インフルエンザ流行状況 2012年2月6日 現在

○ 山梨県内流行情報

平成24年第4週(1月23日～1月29日)の感染症発生動向調査の速報値は次のとおりです。

(速報値)インフルエンザの定点あたり報告数: **33.28人** (※)

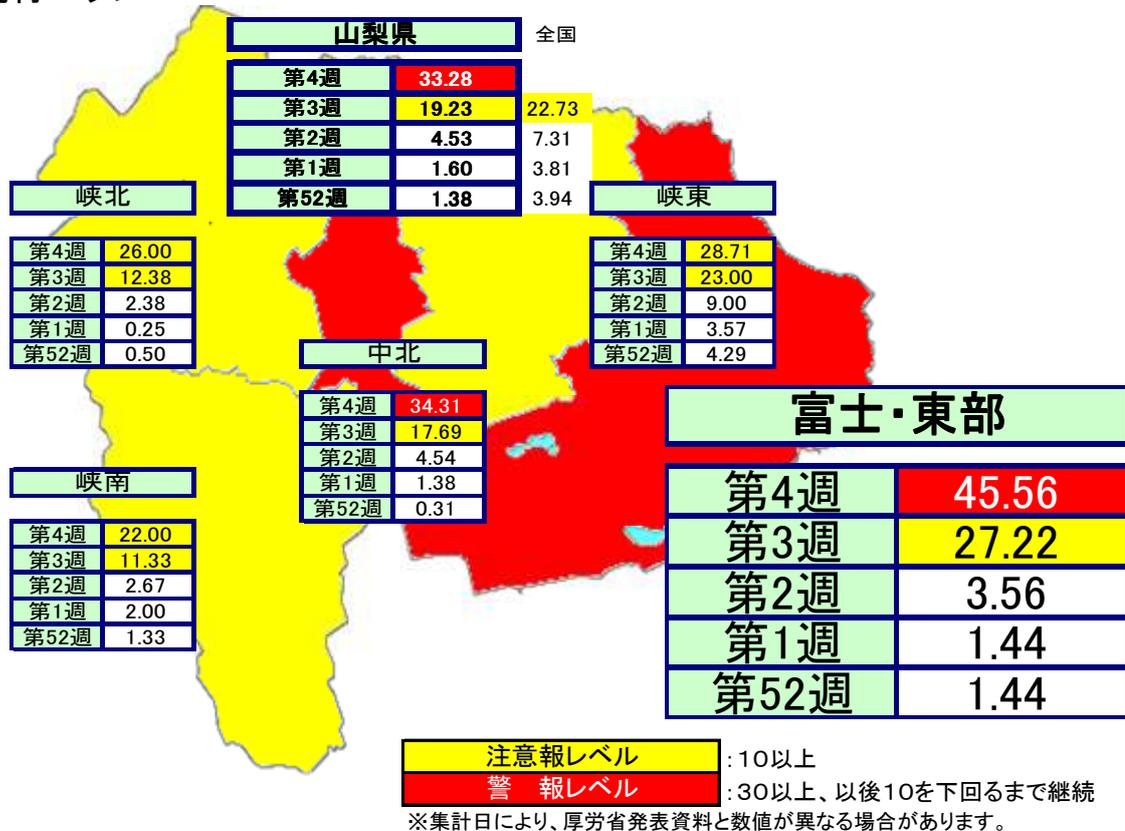
警報レベルの30.00を上回りましたので、山梨県はインフルエンザの警報レベルに入ったと考えられます。

* 定点1医療機関あたりの報告数が 30.00以上…警報レベル

○ 富士・東部管内流行情報

管内でも45.56人/定点となってインフルエンザ警報レベルとなり、県内で最も流行している状況です。

○ 県内流行マップ



○インフルエンザに関する情報は下記HPにも掲載されています。ご参考にしてください。

<http://www.pref.yamanashi.jp/kenko-zsn/87174591102.html>

(山梨県HP: インフルエンザについて)

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年05週(01月30日～02月05日)

○ 山梨県内流行情報

5週の山梨県の状況は、インフルエンザが4週(33.28)から5週(37.83)と依然増加傾向にあります。大きな流行が発生している可能性が高いため、室内の換気などを心がけ、手洗い・うがいを励行し、インフルエンザ様の症状が疑われる場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

○ 富士・東部管内流行情報

管内では、インフルエンザの流行が2週連続して警報レベルに達しており、4週(45.56)から5週(56.78)とさらに増加しています。県内で最も多い患者報告数となっております。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	202788	42.21	1622	0.54	740	0.24	6330	2.09	23892	7.89	4378	1.45
山梨県	1513	37.83	4	0.17	6	0.25	25	1.04	188	7.83	10	0.42
中北	510	39.23	-	-	2	0.25	9	1.13	67	8.38	3	0.38
中北峡北	216	27	2	0.4	-	-	7	1.4	38	7.6	1	0.2
峡東	215	30.71	-	-	-	-	3	0.75	45	11.25	2	0.5
峡南	61	20.33	-	-	-	-	-	-	5	2.5	1	0.5
富士・東部	511	56.78	2	0.4	4	0.8	6	1.2	33	6.6	3	0.6
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	442	0.15	644	0.21	1318	0.44	41	0.01	43	0.01	1444	0.48
山梨県	9	0.38	5	0.21	4	0.17	-	-	-	-	13	0.54
中北	6	0.75	3	0.38	-	-	-	-	-	-	1	0.13
中北峡北	3	0.6	2	0.4	3	0.6	-	-	-	-	10	2
峡東	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-	1	0.25
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.2
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	6	0.01	394	0.6	9	0.02	16	0.04	342	0.75	10	0.02
山梨県	-	-	2	0.22	-	-	-	-	1	0.1	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.5	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	5		4		3		2	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	増加しています	流行しています	37.83	1513	33.28	1331	19.23	769	4.53	181
RSウイルス感染症	減少しています	平年並みです	0.17	4	0.33	8	0.25	6	0.33	8
咽頭結膜熱	横ばいです	流行しています	0.25	6	0.29	7	0.42	10	0.25	6
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	横ばいです	平年並みです	1.04	25	1.17	28	1.54	37	0.88	21
感染性胃腸炎	減少しています	平年並みです	7.83	188	9.25	222	13.38	321	12.21	293
水痘	減少しています	平年より少ない発生数です	0.42	10	0.96	23	1.33	32	0.71	17
手足口病	やや増加しています	たいへん流行しています	0.38	9	0.17	4	0.13	3	0.13	3
伝染性紅斑	横ばいです	平年並みです	0.21	5	0.21	5	0.04	1	0.08	2
突発性発疹	やや減少しています	平年より少ない発生数です	0.17	4	0.25	6	0.38	9	0.33	8
百日咳	-	-	-	-	-	-	0.08	2	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	0.04	1
流行性耳下腺炎	減少しています	流行しています	0.54	13	0.79	19	0.63	15	1	24
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.22	2	0.44	4	0.33	3	0.44	4
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	減少しています	平年並みです	0.1	1	0.4	4	0.4	4	0.1	1
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
五類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	中北	男	78
二類感染症	結核	峡南	男	60

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年06週(02月06日～02月12日)

○ 山梨県内流行情報

6週の山梨県の状況は、インフルエンザが5週(37.83)から6週(39.53)とやや増加しています。大きな流行が発生している可能性が高いため、室内の換気などを心がけ、手洗いうがいを励行し、インフルエンザ様の症状が疑われる場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

○ 富士・東部管内流行情報

管内ではインフルエンザの流行が警報レベルを推移しており、引き続き注意が必要です。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	196195	40.32	1379	0.44	629	0.2	6180	1.99	22107	7.13	4257	1.37
山梨県	1581	39.53	3	0.13	1	0.04	26	1.08	183	7.63	11	0.46
中北	534	41.08	-	-	1	0.13	10	1.25	80	10	6	0.75
中北峡北	257	32.13	1	0.2	-	-	4	0.8	38	7.6	2	0.4
峡東	220	31.43	-	-	-	-	2	0.5	22	5.5	-	-
峡南	61	20.33	-	-	-	-	-	-	13	6.5	-	-
富士・東部	509	56.56	2	0.4	-	-	10	2	30	6	3	0.6
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	398	0.13	492	0.16	1249	0.4	53	0.02	49	0.02	1210	0.39
山梨県	3	0.13	1	0.04	4	0.17	-	-	-	-	14	0.58
中北	1	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	2	0.4	1	0.2	2	0.4	-	-	-	-	9	1.8
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.5
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	2	0.4	-	-	-	-	3	0.6
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	13	0.02	376	0.57	6	0.01	14	0.03	372	0.81	13	0.03
山梨県	-	-	5	0.56	-	-	-	-	3	0.3	1	0.1
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.67	1	0.33
中北峡北	-	-	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	1	0.5	-	-	-	-	1	0.5	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(次ページあり)

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	6		5		4		3	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	やや増加しています	たいへん流行しています	39.53	1581	37.83	1513	33.28	1331	19.23	769
RSウイルス感染症	やや減少しています	平年並みです	0.13	3	0.17	4	0.33	8	0.25	6
咽頭結膜熱	減少しています	平年並みです	0.04	1	0.25	6	0.29	7	0.42	10
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	横ばいです	平年並みです	1.08	26	1.04	25	1.17	28	1.54	37
感染性胃腸炎	横ばいです	平年並みです	7.63	183	7.83	188	9.25	222	13.38	321
水痘	横ばいです	平年より少ない発生数です	0.46	11	0.42	10	0.96	23	1.33	32
手足口病	減少しています	平年並みです	0.13	3	0.38	9	0.17	4	0.13	3
伝染性紅斑	減少しています	平年より少ない発生数です	0.04	1	0.21	5	0.21	5	0.04	1
突発性発疹	横ばいです	平年並みです	0.17	4	0.17	4	0.25	6	0.38	9
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	0.08	2
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	横ばいです	流行しています	0.58	14	0.54	13	0.79	19	0.63	15
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	横ばいです	流行しています	0.56	5	0.22	2	0.44	4	0.33	3
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	増加しています	平年並みです	0.3	3	0.1	1	0.4	4	0.4	4
クラミジア肺炎	-	-	0.1	1	-	-	-	-	-	-

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
五類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	中北	女	79
二類感染症	結核	富士・東部	男	81
二類感染症	結核	峡南	男	79
二類感染症	結核	富士・東部	女	94

(別添)

平成24年2月16日
富士・東部保健所

インフルエンザ流行状況 2012年2月16日 現在

○ 山梨県内流行情報

平成24年第6週(2月6日～2月12日)の感染症発生動向調査は次のとおりです。

インフルエンザの定点あたり報告数: 39.53人 (※)

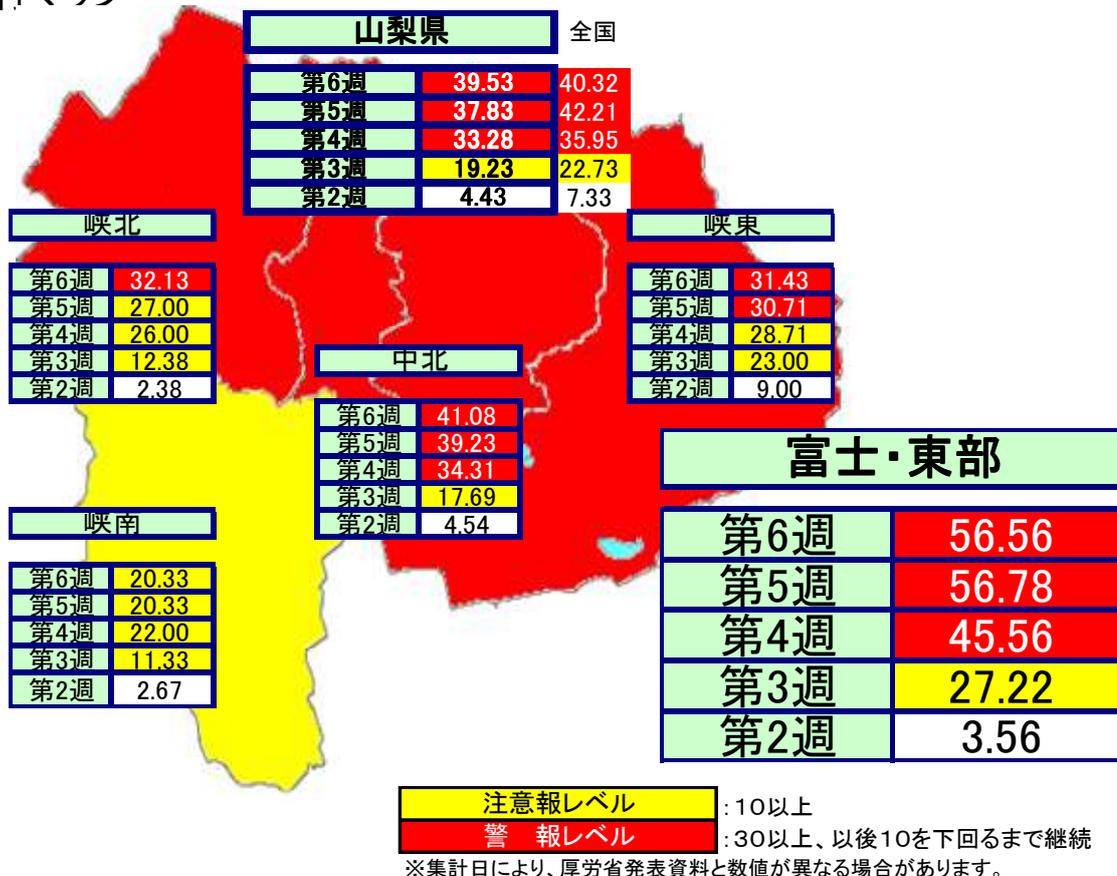
警報レベルの30.00を上回りましたので、山梨県はインフルエンザの警報レベルに入っています。

* 定点1医療機関あたりの報告数が 30.00以上…警報レベル

○ 富士・東部管内流行情報

56.56人/定点となってインフルエンザ警報レベルが3週間続いております。また、県内で最も流行している状況です。

○ 県内流行マップ



○インフルエンザに関する情報は下記HPIにも掲載されています。ご参考になさってください。

<http://www.pref.yamanashi.jp/kenko-zsn/87174591102.html>

(山梨県HP:インフルエンザについて)

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年07週(02月13日～02月19日)

○ 山梨県内流行情報

7週の山梨県の状況は、インフルエンザが6週(39.53)から7週(30.15)と減少しましたが、依然高い数値となっています。室内の換気などを心がけ、手洗い・うがいを励行し、インフルエンザ様の症状が疑われる場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

○ 富士・東部管内流行情報

管内ではインフルエンザが6週(56.56)から7週(32.0)と減少しましたが、依然警報レベルであり、引き続き注意が必要です。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	174871	35.44	1335	0.42	776	0.25	7411	2.36	23311	7.41	4739	1.51
山梨県	1206	30.15	10	0.42	4	0.17	44	1.83	165	6.88	12	0.5
中北	483	37.15	3	0.38	4	0.5	17	2.13	81	10.13	3	0.38
中北峡北	192	24	1	0.2	-	-	14	2.8	19	3.8	4	0.8
峡東	208	29.71	-	-	-	-	4	1	22	5.5	-	-
峡南	35	11.67	-	-	-	-	-	-	11	5.5	4	2
富士・東部	288	32	6	1.2	-	-	9	1.8	32	6.4	1	0.2
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	339	0.11	512	0.16	1427	0.45	55	0.02	51	0.02	1603	0.51
山梨県	3	0.13	4	0.17	5	0.21	-	-	-	-	18	0.75
中北	2	0.25	-	-	3	0.38	-	-	-	-	2	0.25
中北峡北	1	0.2	3	0.6	-	-	-	-	-	-	8	1.6
峡東	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-	1	0.25
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	1	0.2	1	0.2	-	-	-	-	7	1.4
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	16	0.02	411	0.6	8	0.02	6	0.01	387	0.84	14	0.03
山梨県	-	-	4	0.44	-	-	-	-	3	0.3	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.67	-	-
中北峡北	-	-	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.5	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	7		6		5		4	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	減少しています	たいへん流行しています	30.15	1206	39.53	1581	37.83	1513	33.28	1331
RSウイルス感染症	増加しています	平年並みです	0.42	10	0.13	3	0.17	4	0.33	8
咽頭結膜熱	増加しています	流行しています	0.17	4	0.04	1	0.25	6	0.29	7
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	増加しています	平年並みです	1.83	44	1.08	26	1.04	25	1.17	28
感染性胃腸炎	やや減少しています	平年並みです	6.88	165	7.63	183	7.83	188	9.25	222
水痘	横ばいです	平年より少ない発生数です	0.5	12	0.46	11	0.42	10	0.96	23
手足口病	横ばいです	流行しています	0.13	3	0.13	3	0.38	9	0.17	4
伝染性紅斑	やや増加しています	平年並みです	0.17	4	0.04	1	0.21	5	0.21	5
突発性発疹	横ばいです	平年並みです	0.21	5	0.17	4	0.17	4	0.25	6
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	やや増加しています	たいへん流行しています	0.75	18	0.58	14	0.54	13	0.79	19
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.44	4	0.56	5	0.22	2	0.44	4
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	横ばいです	平年並みです	0.3	3	0.3	3	0.1	1	0.4	4
クラミジア肺炎	-	-	-	-	0.1	1	-	-	-	-

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
五類感染症	梅毒	中北	男	45
二類感染症	結核	富士・東部	男	78
二類感染症	結核	中北	女	36

(別添)

平成24年2月23日
富士・東部保健所

インフルエンザ流行状況 2012年2月23日 現在

○ 山梨県内流行情報

平成24年第6週(2月6日～2月12日)の感染症発生動向調査は次のとおりです。

インフルエンザの定点あたり報告数: 30.15人 (※)

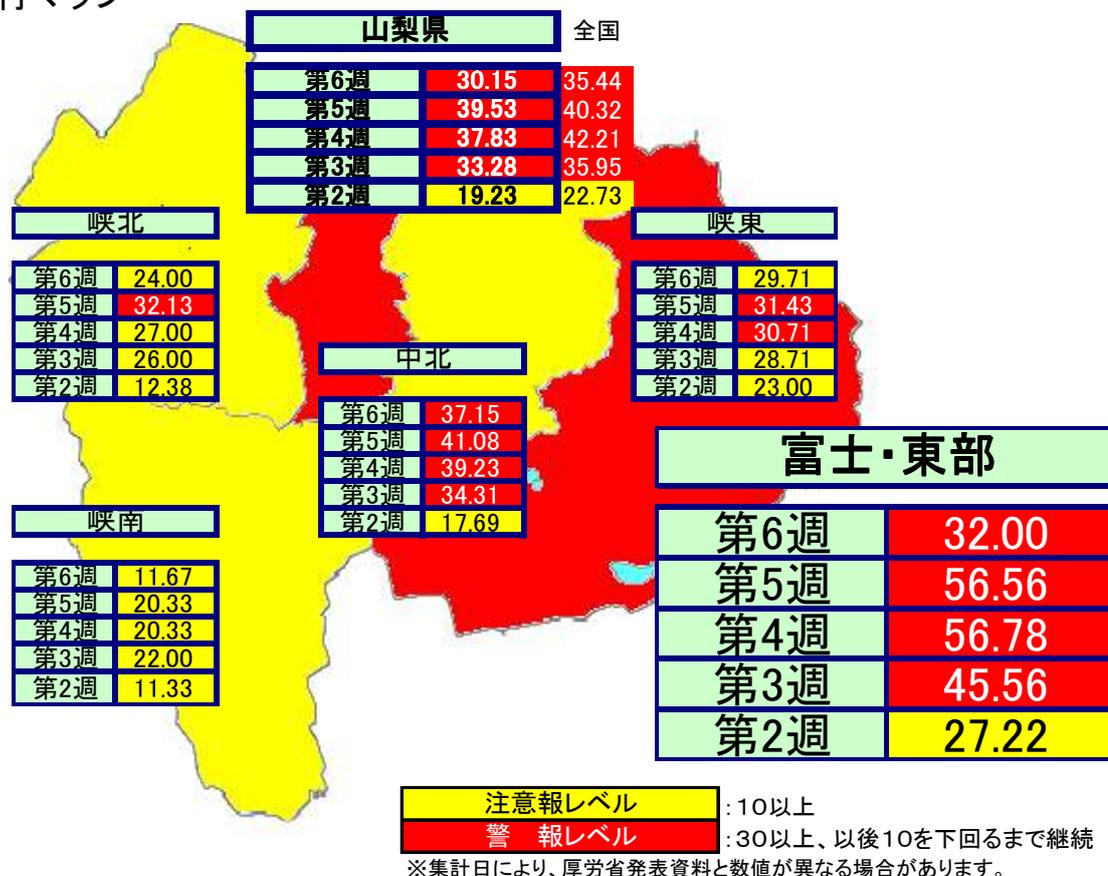
警報レベルの30.00を上回りましたので、山梨県はインフルエンザの警報レベルに入っています。

* 定点1医療機関あたりの報告数が 30.00以上…警報レベル

○ 富士・東部管内流行情報

32人/定点となって報告数は減少しましたが、インフルエンザ警報レベルは4週間続いております。

○ 県内流行マップ



○インフルエンザに関する情報は下記HPにも掲載されています。ご参考になさってください。

<http://www.pref.yamanashi.jp/kenko-zsn/87174591102.html>

(山梨県HP: インフルエンザについて)

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年08週(02月20日～02月26日)

○ 山梨県内流行情報

8週の山梨県の状況は、インフルエンザが7週(30.15)から8週(21.75)と減少していますが、依然高い数値となっています。室内の換気などを心がけ、手洗い・うがいを励行し、体調管理に注意して過ごしましょう。

○ 富士・東部管内流行情報

管内ではインフルエンザが7週(32.0)から8週(21.67)と減少しましたが、依然警報レベルであり、引き続き注意が必要です。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	143267	29.04	1340	0.43	791	0.25	7364	2.34	22358	7.11	4559	1.45
山梨県	870	21.75	5	0.21	2	0.08	41	1.71	172	7.17	14	0.58
中北	330	25.38	-	-	2	0.25	12	1.5	78	9.75	6	0.75
中北峡北	226	28.25	-	-	-	-	16	3.2	41	8.2	4	0.8
峡東	108	15.43	-	-	-	-	2	0.5	20	5	1	0.25
峡南	11	3.67	-	-	-	-	-	-	3	1.5	-	-
富士・東部	195	21.67	5	1	-	-	11	2.2	30	6	3	0.6
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	348	0.11	547	0.17	1434	0.46	57	0.02	44	0.01	1526	0.49
山梨県	4	0.17	1	0.04	5	0.21	-	-	-	-	24	1
中北	-	-	-	-	1	0.13	-	-	-	-	4	0.5
中北峡北	4	0.8	-	-	1	0.2	-	-	-	-	14	2.8
峡東	-	-	-	-	2	0.5	-	-	-	-	1	0.25
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	1	0.2	1	0.2	-	-	-	-	5	1
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	13	0.02	392	0.58	8	0.02	12	0.03	379	0.82	15	0.03
山梨県	-	-	1	0.11	-	-	-	-	2	0.2	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.33	-	-
中北峡北	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.5	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(次ページあり)

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	8		7		6		5	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	減少しています	たいへん流行しています	21.75	870	30.15	1206	39.53	1581	37.83	1513
RSウイルス感染症	減少しています	平年並みです	0.21	5	0.42	10	0.13	3	0.17	4
咽頭結膜熱	やや減少しています	平年並みです	0.08	2	0.17	4	0.04	1	0.25	6
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	横ばいです	平年並みです	1.71	41	1.83	44	1.08	26	1.04	25
感染性胃腸炎	横ばいです	平年並みです	7.17	172	6.88	165	7.63	183	7.83	188
水痘	横ばいです	平年より少ない発生数です	0.58	14	0.5	12	0.46	11	0.42	10
手足口病	横ばいです	流行しています	0.17	4	0.13	3	0.13	3	0.38	9
伝染性紅斑	やや減少しています	平年並みです	0.04	1	0.17	4	0.04	1	0.21	5
突発性発疹	横ばいです	平年並みです	0.21	5	0.21	5	0.17	4	0.17	4
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	増加しています	たいへん流行しています	1	24	0.75	18	0.58	14	0.54	13
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.11	1	0.44	4	0.56	5	0.22	2
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	やや減少しています	流行しています	0.2	2	0.3	3	0.3	3	0.1	1
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	0.1	1	-	-

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
三類感染症	細菌性赤痢	峡南	女	60
二類感染症	結核	富士・東部	女	30

(別添)

平成24年3月1日
富士・東部保健所

インフルエンザ流行状況 2012年3月1日 現在

○ 山梨県内流行情報

2012年08週(02月20日～02月26日)の感染症発生動向調査は次のとおりです。

インフルエンザの定点あたり報告数: 21.75人 (※)

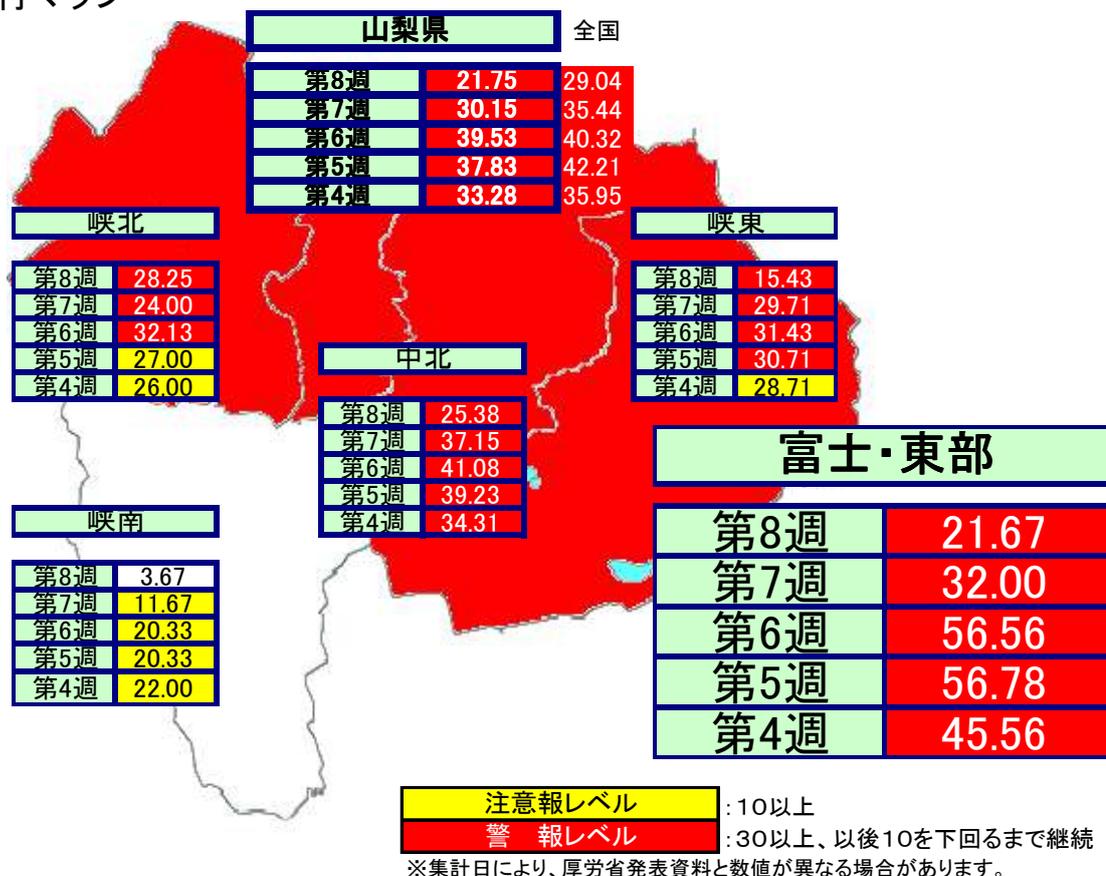
定点あたり報告数が30.00人を上回り、以降10.00人を下回るまで山梨県はインフルエンザの警報レベルとなります。

* 定点1医療機関あたりの報告数が 30.00以上…警報レベル

○ 富士・東部管内流行情報

21.67人/定点となって報告数は減少しましたが、警報解除の基準である10人/定点を下回るまで警報レベルは継続します。

○ 県内流行マップ



○インフルエンザに関する情報は下記HPにも掲載されています。ご参考になさってください。

<http://www.pref.yamanashi.jp/kenko-zsn/87174591102.html>

(山梨県HP: インフルエンザについて)

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年09週(02月27日～03月04日)

○ 山梨県内流行情報

9週の山梨県の状況は、インフルエンザが8週(21.75)から9週(14.50)と減少が続いています。気温の寒暖により体調を崩さないよう、手洗いうがいを励行し、体調管理に注意して過ごしましょう。

○ 富士・東部管内流行情報

管内ではインフルエンザが8週(21.67)から9週(13.44)と減少しましたが、依然警報レベルであり、引き続き注意が必要です。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	117012	23.7	1304	0.41	722	0.23	7222	2.29	22370	7.1	4335	1.38
山梨県	580	14.5	4	0.17	5	0.21	45	1.88	192	8	7	0.29
中北	240	18.46	-	-	5	0.63	10	1.25	83	10.38	2	0.25
中北峡北	153	19.13	1	0.2	-	-	17	3.4	35	7	2	0.4
峡東	49	7	-	-	-	-	4	1	30	7.5	1	0.25
峡南	17	5.67	-	-	-	-	1	0.5	6	3	-	-
富士・東部	121	13.44	3	0.6	-	-	13	2.6	38	7.6	2	0.4
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	274	0.09	507	0.16	1427	0.45	61	0.02	39	0.01	1415	0.45
山梨県	1	0.04	-	-	9	0.38	-	-	-	-	11	0.46
中北	-	-	-	-	1	0.13	-	-	-	-	1	0.13
中北峡北	1	0.2	-	-	2	0.4	-	-	-	-	3	0.6
峡東	-	-	-	-	2	0.5	-	-	-	-	3	0.75
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	4	0.8	-	-	-	-	4	0.8
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	12	0.02	349	0.51	10	0.02	13	0.03	359	0.77	12	0.03
山梨県	-	-	1	0.11	-	-	-	-	3	0.3	1	0.1
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	1	0.33
中北峡北	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	9		8		7		6	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	減少しています	平年並みです	14.5	580	21.75	870	30.15	1206	39.53	1581
RSウイルス感染症	やや減少しています	平年並みです	0.17	4	0.21	5	0.42	10	0.13	3
咽頭結膜熱	増加しています	流行しています	0.21	5	0.08	2	0.17	4	0.04	1
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	横ばいです	平年並みです	1.88	45	1.71	41	1.83	44	1.08	26
感染性胃腸炎	やや増加しています	平年並みです	8	192	7.17	172	6.88	165	7.63	183
水痘	やや減少しています	平年より少ない発生数です	0.29	7	0.58	14	0.5	12	0.46	11
手足口病	やや減少しています	平年並みです	0.04	1	0.17	4	0.13	3	0.13	3
伝染性紅斑	—	—	—	—	0.04	1	0.17	4	0.04	1
突発性発疹	増加しています	平年並みです	0.38	9	0.21	5	0.21	5	0.17	4
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	減少しています	平年並みです	0.46	11	1	24	0.75	18	0.58	14
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.11	1	0.11	1	0.44	4	0.56	5
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	やや増加しています	たいへん流行しています	0.3	3	0.2	2	0.3	3	0.3	3
クラミジア肺炎	—	—	0.1	1	—	—	—	—	0.1	1

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	中北	男	35
二類感染症	結核	中北	男	76
二類感染症	結核	富士・東部	男	70
五類感染症	麻疹	中北	女	1

(別添)

平成24年3月8日
富士・東部保健所

インフルエンザ流行状況 2012年3月8日 現在

○ 山梨県内流行情報

2012年09週(02月27日～03月04日)の感染症発生動向調査は次のとおりです。

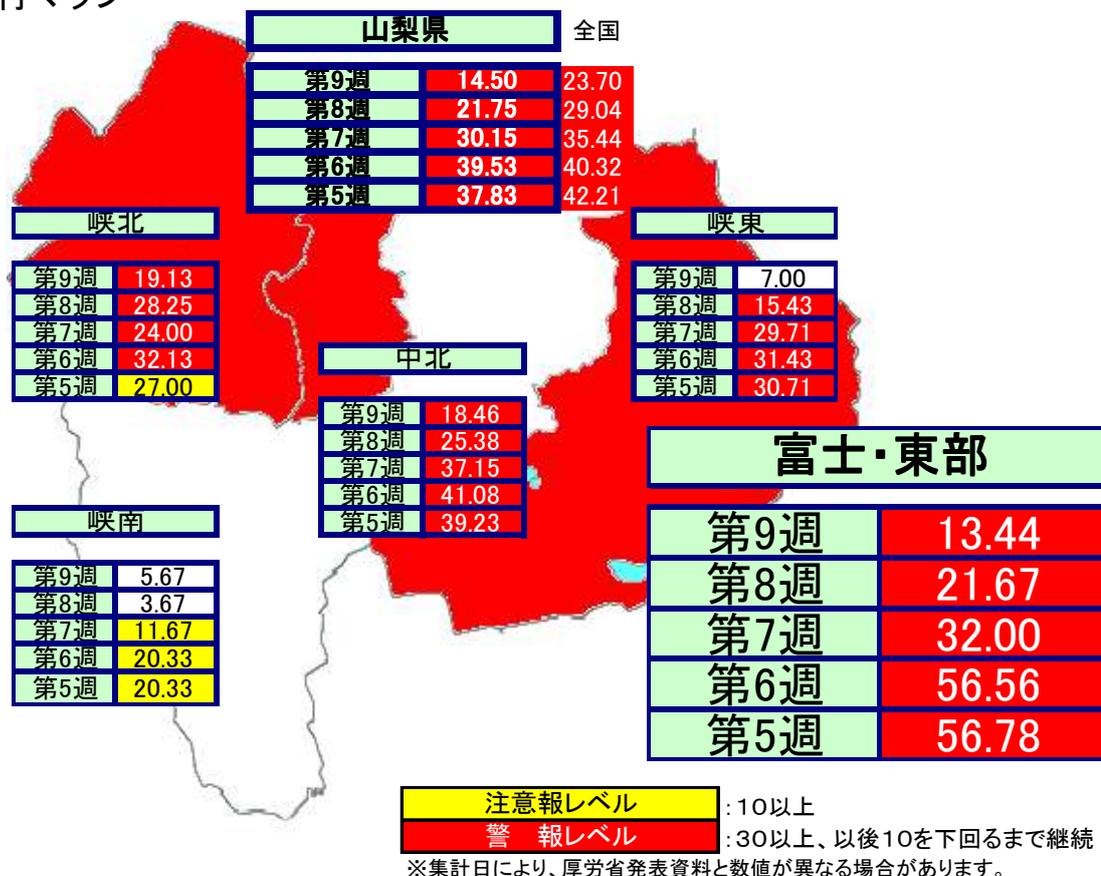
インフルエンザの定点あたり報告数: 14.50人

定点あたり報告数が30.00人を上回り、以降10.00人を下回るまで山梨県はインフルエンザの警報レベルとなります。

○ 富士・東部管内流行情報

13.44人/定点となって報告数は減少していますが、警報解除の基準である10人/定点を下回るまで警報レベルは継続します。

○ 県内流行マップ



○インフルエンザに関する情報は下記HPにも掲載されています。ご参考になさってください。

<http://www.pref.yamanashi.jp/kenko-zsn/87174591102.html>

(山梨県HP:インフルエンザについて)

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年10週(03月05日～03月11日)

○ 山梨県内流行情報

10週の山梨県の状況は、インフルエンザが9週(14.50)から10週(11.55)と減少が続いていますが、気温の寒暖により体調を崩さないよう、手洗い・うがいを励行し、体調管理に注意して過ごしましょう。

○ 富士・東部管内流行情報

管内ではインフルエンザが9週(13.44)から10週(10.89)と減少しましたが、依然警報レベルであり、引き続き注意が必要です。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	103863	21.06	1334	0.42	702	0.22	7856	2.5	23604	7.5	4393	1.4
山梨県	462	11.55	4	0.17	3	0.13	62	2.58	170	7.08	10	0.42
中北	199	15.31	3	0.38	3	0.38	18	2.25	78	9.75	4	0.5
中北峡北	112	14	-	-	-	-	20	4	31	6.2	1	0.2
峡東	35	5	1	0.25	-	-	3	0.75	20	5	1	0.25
峡南	18	6	-	-	-	-	-	-	3	1.5	-	-
富士・東部	98	10.89	-	-	-	-	21	4.2	38	7.6	4	0.8
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	263	0.08	509	0.16	1452	0.46	45	0.01	50	0.02	1605	0.51
山梨県	-	-	3	0.13	9	0.38	-	-	-	-	23	0.96
中北	-	-	3	0.38	5	0.63	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	3	0.6	-	-	-	-	17	3.4
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	1	0.2	-	-	-	-	6	1.2
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	16	0.02	331	0.49	10	0.02	8	0.02	368	0.79	14	0.03
山梨県	-	-	1	0.11	-	-	-	-	3	0.3	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.67	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.5	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-

(次ページあり)

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	10		9		8		7	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	やや減少しています	平年並みです	11.55	462	14.5	580	21.75	870	30.15	1206
RSウイルス感染症	横ばいです	平年並みです	0.17	4	0.17	4	0.21	5	0.42	10
咽頭結膜熱	やや減少しています	平年並みです	0.13	3	0.21	5	0.08	2	0.17	4
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	増加しています	平年並みです	2.58	62	1.88	45	1.71	41	1.83	44
感染性胃腸炎	やや減少しています	平年並みです	7.08	170	8	192	7.17	172	6.88	165
水痘	横ばいです	平年より少ない発生数です	0.42	10	0.29	7	0.58	14	0.5	12
手足口病	-	-	-	-	0.04	1	0.17	4	0.13	3
伝染性紅斑	-	-	0.13	3	-	-	0.04	1	0.17	4
突発性発疹	横ばいです	平年並みです	0.38	9	0.38	9	0.21	5	0.21	5
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	増加しています	たいへん流行しています	0.96	23	0.46	11	1	24	0.75	18
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.11	1	0.11	1	0.11	1	0.44	4
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	横ばいです	たいへん流行しています	0.3	3	0.3	3	0.2	2	0.3	3
クラミジア肺炎	-	-	-	-	0.1	1	-	-	-	-

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	中北	女	44
二類感染症	結核	中北	男	27

(別添)

平成24年3月15日
富士・東部保健所

インフルエンザ流行状況 2012年3月15日 現在

○ 山梨県内流行情報

2012年10週(03月05日～03月11日)の感染症発生動向調査は次のとおりです。

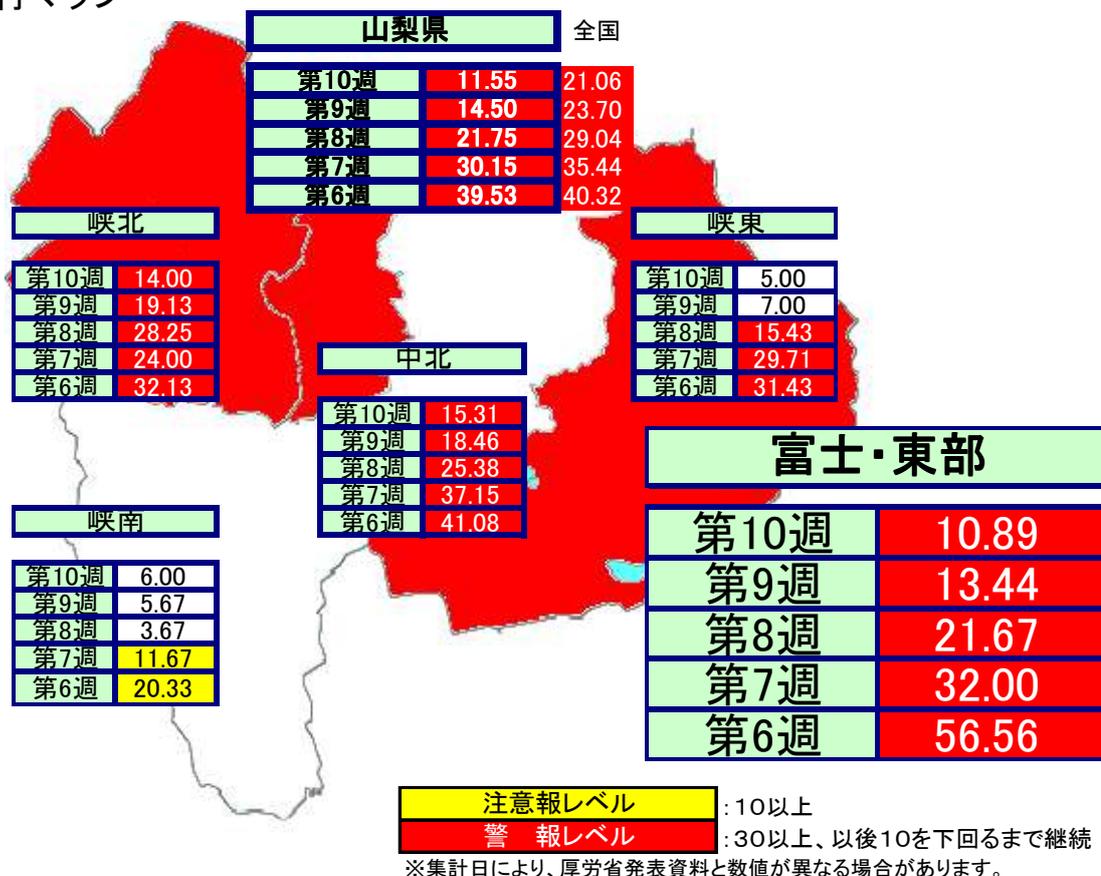
インフルエンザの定点あたり報告数: 11.55人

定点あたり報告数が30.00人を上回り、以降10.00人を下回るまで山梨県はインフルエンザの警報レベルとなります。

○ 富士・東部管内流行情報

10.89人/定点となって報告数は減少していますが、警報解除の基準である10人/定点を下回るまで警報レベルは継続します。

○ 県内流行マップ



○インフルエンザに関する情報は下記HPにも掲載されています。ご参考にしてください。
<http://www.pref.yamanashi.jp/kenko-zsn/87174591102.html>
(山梨県HP:インフルエンザについて)

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年11週(03月12日～03月18日)

○ 山梨県内流行情報

11週の山梨県の状況は、インフルエンザが10週(11.55)から11週(7.63)と減少が続いています。気温の寒暖により体調を崩さないよう、手洗い・うがいを励行し、体調管理に注意して過ごしましょう。

○ 富士・東部管内流行情報

管内ではインフルエンザが10週(10.89)から11週(7.78)と減少し、警報解除となりました。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	78854	16.7	1063	0.35	726	0.24	7061	2.34	22286	7.4	4009	1.33
山梨県	305	7.63	4	0.17	1	0.04	61	2.54	157	6.54	7	0.29
中北	141	10.85	3	0.38	-	-	8	1	65	8.13	3	0.38
中北峡北	58	7.25	-	-	-	-	35	7	32	6.4	2	0.4
峡東	20	2.86	-	-	-	-	3	0.75	21	5.25	-	-
峡南	16	5.33	-	-	-	-	-	-	6	3	-	-
富士・東部	70	7.78	1	0.2	1	0.2	15	3	33	6.6	2	0.4
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	273	0.09	542	0.18	1365	0.45	68	0.02	57	0.02	1352	0.45
山梨県	-	-	2	0.08	8	0.33	-	-	-	-	27	1.13
中北	-	-	-	-	3	0.38	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	2	0.4	-	-	-	-	-	-	16	3.2
峡東	-	-	-	-	3	0.75	-	-	-	-	3	0.75
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	2	0.4	-	-	-	-	8	1.6
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	6	0.01	305	0.47	7	0.02	9	0.02	345	0.77	13	0.03
山梨県	-	-	2	0.22	-	-	-	-	5	0.5	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	-	-
中北峡北	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-

(次ページあり)

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	11		10		9		8	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	減少しています	平年並みです	7.63	305	11.55	462	14.5	580	21.75	870
RSウイルス感染症	横ばいです	平年並みです	0.17	4	0.17	4	0.17	4	0.21	5
咽頭結膜熱	やや減少しています	平年並みです	0.04	1	0.13	3	0.21	5	0.08	2
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	横ばいです	平年並みです	2.54	61	2.58	62	1.88	45	1.71	41
感染性胃腸炎	横ばいです	平年並みです	6.54	157	7.08	170	8	192	7.17	172
水痘	横ばいです	平年より少ない発生数です	0.29	7	0.42	10	0.29	7	0.58	14
手足口病	－	－	－	－	－	－	0.04	1	0.17	4
伝染性紅斑	横ばいです	平年並みです	0.08	2	0.13	3	－	－	0.04	1
突発性発疹	横ばいです	平年並みです	0.33	8	0.38	9	0.38	9	0.21	5
百日咳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヘルパンギーナ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
流行性耳下腺炎	やや増加しています	たいへん流行しています	1.13	27	0.96	23	0.46	11	1	24
急性出血性結膜炎	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.22	2	0.11	1	0.11	1	0.11	1
細菌性髄膜炎	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎	増加しています	たいへん流行しています	0.5	5	0.3	3	0.3	3	0.3	3
クラミジア肺炎	－	－	－	－	－	－	0.1	1	－	－

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
四類感染症	レジオネラ症	中北	男	77
二類感染症	結核	峡南	女	64

(別添)

平成24年3月26日
富士・東部保健所

インフルエンザ流行状況 2012年3月26日 現在

○ 山梨県内流行情報

2012年11週(03月12日～03月18日)の感染症発生動向調査は次のとおりです。

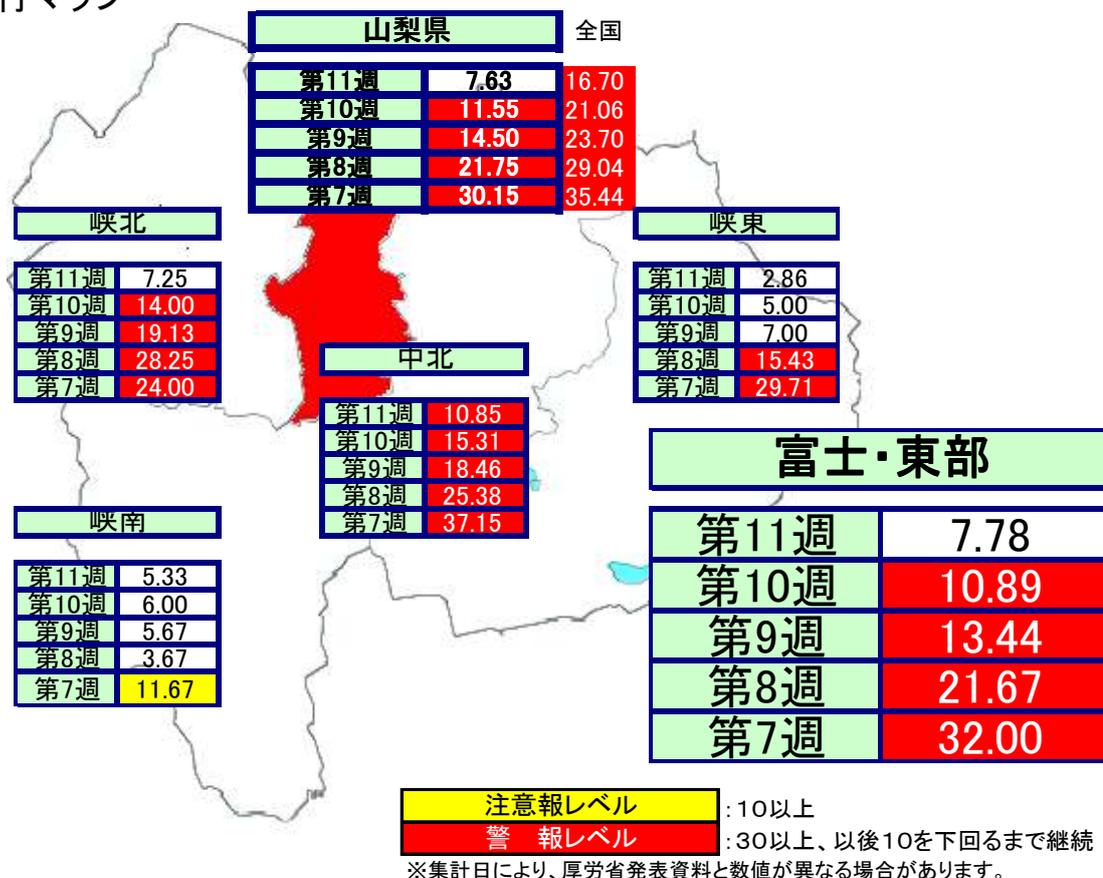
インフルエンザの定点あたり報告数: 7.63人

警報解除基準の10.00人を下回り、山梨県はインフルエンザの警報解除となります。

○ 富士・東部管内流行情報

7.78人/定点となって警報解除の基準である10人/定点を下回りましたので、管内は警報解除となりました。

○ 県内流行マップ



○インフルエンザに関する情報は下記HPにも掲載されています。ご参考になさってください。

<http://www.pref.yamanashi.jp/kenko-zsn/87174591102.html>

(山梨県HP:インフルエンザについて)

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年12週(03月19日～03月25日)

○ 山梨県内流行情報

12週の山梨県の状況は、インフルエンザが11週(7.63)から12週(7.20)と減少が続いています。気温の寒暖により体調を崩さないよう、手洗い・うがいを励行し、体調管理に注意して過ごしましょう。

○ 富士・東部管内流行情報

管内で大きく流行している感染症はありません。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	69978	14.21	950	0.3	648	0.21	5806	1.85	21495	6.83	4534	1.44
山梨県	288	7.2	2	0.08	2	0.08	64	2.67	142	5.92	20	0.83
中北	136	10.46	-	-	2	0.25	6	0.75	76	9.5	6	0.75
中北峡北	44	5.5	-	-	-	-	44	8.8	20	4	4	0.8
峡東	26	3.71	-	-	-	-	1	0.25	22	5.5	2	0.5
峡南	12	4	-	-	-	-	-	-	5	2.5	-	-
富士・東部	70	7.78	2	0.4	-	-	13	2.6	19	3.8	8	1.6
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	248	0.08	436	0.14	1452	0.46	51	0.02	47	0.01	1536	0.49
山梨県	-	-	1	0.04	5	0.21	-	-	-	-	13	0.54
中北	-	-	-	-	1	0.13	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	2	0.4	-	-	-	-	5	1
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.5
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	1	0.2	2	0.4	-	-	-	-	6	1.2
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	16	0.02	289	0.43	9	0.02	13	0.03	344	0.74	9	0.02
山梨県	-	-	4	0.44	-	-	-	-	2	0.2	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.33	-	-
中北峡北	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.5	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-

(次ページあり)

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	12		11		10		9	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	横ばいです	平年並みです	7.2	288	7.63	305	11.55	462	14.5	580
RSウイルス感染症	減少しています	平年並みです	0.08	2	0.17	4	0.17	4	0.17	4
咽頭結膜熱	横ばいです	平年並みです	0.08	2	0.04	1	0.13	3	0.21	5
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	横ばいです	流行しています	2.67	64	2.54	61	2.58	62	1.88	45
感染性胃腸炎	やや減少しています	平年並みです	5.92	142	6.54	157	7.08	170	8	192
水痘	増加しています	平年並みです	0.83	20	0.29	7	0.42	10	0.29	7
手足口病	-	-	-	-	-	-	-	-	0.04	1
伝染性紅斑	横ばいです	平年より少ない発生数です	0.04	1	0.08	2	0.13	3	-	-
突発性発疹	やや減少しています	平年並みです	0.21	5	0.33	8	0.38	9	0.38	9
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	減少しています	流行しています	0.54	13	1.13	27	0.96	23	0.46	11
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.44	4	0.22	2	0.11	1	0.11	1
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	減少しています	流行しています	0.2	2	0.5	5	0.3	3	0.3	3
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1	1

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年13週(03月26日～04月01日)

○ 山梨県内流行情報

13週(3/26～4/1)は、インフルエンザの発生が減少し、山梨県での警報は解除となりましたが、発生が増えている地域があり、教育機関が新学期を迎えるので、引き続き警戒が必要です。また、感染性胃腸炎が増加していますので、手洗いを徹底し、体調管理に注意しましょう。

○ 富士・東部管内流行情報

管内で大きく流行している感染症はありません。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	49997	10.15	832	0.26	658	0.21	5300	1.69	22186	7.06	3914	1.24
山梨県	204	5.1	3	0.13	—	—	59	2.46	199	8.29	14	0.58
中北	66	5.08	—	—	—	—	7	0.88	81	10.13	4	0.5
中北峡北	47	5.88	—	—	—	—	27	5.4	57	11.4	3	0.6
峡東	26	3.71	—	—	—	—	3	0.75	26	6.5	4	1
峡南	26	8.67	—	—	—	—	—	—	3	1.5	—	—
富士・東部	39	4.33	3	0.6	—	—	22	4.4	32	6.4	3	0.6
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	255	0.08	503	0.16	1572	0.5	67	0.02	78	0.02	1548	0.49
山梨県	2	0.08	2	0.08	8	0.33	—	—	—	—	27	1.13
中北	2	0.25	—	—	2	0.25	—	—	—	—	2	0.25
中北峡北	—	—	1	0.2	—	—	—	—	—	—	14	2.8
峡東	—	—	—	—	4	1	—	—	—	—	—	—
峡南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
富士・東部	—	—	1	0.2	2	0.4	—	—	—	—	11	2.2
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	7	0.01	306	0.45	11	0.02	14	0.03	330	0.71	13	0.03
山梨県	—	—	5	0.56	—	—	—	—	1	0.1	2	0.2
中北	—	—	—	—	—	—	—	—	1	0.33	2	0.67
中北峡北	—	—	3	1.5	—	—	—	—	—	—	—	—
峡東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
峡南	…	…	…	…	—	—	—	—	—	—	—	—
富士・東部	—	—	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—

(次ページあり)

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	13		12		11		10	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	やや減少しています	平年並みです	5.1	204	7.2	288	7.63	305	11.55	462
RSウイルス感染症	やや増加しています	平年並みです	0.13	3	0.08	2	0.17	4	0.17	4
咽頭結膜熱	—	—	—	—	0.08	2	0.04	1	0.13	3
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	横ばいです	流行しています	2.46	59	2.67	64	2.54	61	2.58	62
感染性胃腸炎	増加しています	流行しています	8.29	199	5.92	142	6.54	157	7.08	170
水痘	やや減少しています	平年並みです	0.58	14	0.83	20	0.29	7	0.42	10
手足口病	—	—	0.08	2	—	—	—	—	—	—
伝染性紅斑	横ばいです	平年並みです	0.08	2	0.04	1	0.08	2	0.13	3
突発性発疹	やや増加しています	平年並みです	0.33	8	0.21	5	0.33	8	0.38	9
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	増加しています	たいへん流行しています	1.13	27	0.54	13	1.13	27	0.96	23
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	横ばいです	流行しています	0.56	5	0.44	4	0.22	2	0.11	1
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	やや減少しています	平年並みです	0.1	1	0.2	2	0.5	5	0.3	3
クラミジア肺炎	—	—	0.2	2	—	—	—	—	—	—

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	中北	男	83
二類感染症	結核	中北	男	85
五類感染症	梅毒	中北	女	25

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年14週(04月02日～04月08日)

○ 山梨県内流行情報

感染性胃腸炎が先週に引き続き増加しており、注意が必要です。
インフルエンザは、ほぼ先週と同数ですが、学校の新学期が始まり、再度流行する可能性があります。
手洗い、うがいを徹底し、体調管理に気をつけましょう。

○ 富士・東部管内流行情報

管内では、感染性胃腸炎の定点当たり報告数が13週(6.4)から14週(8.6)と増加しています。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	29736	6.04	678	0.22	703	0.22	4645	1.48	23464	7.47	3824	1.22
山梨県	219	5.48	-	-	1	0.04	51	2.13	222	9.25	10	0.42
中北	75	5.77	-	-	1	0.13	7	0.88	93	11.63	5	0.63
中北峡北	55	6.88	-	-	-	-	33	6.6	40	8	2	0.4
峡東	27	3.86	-	-	-	-	1	0.25	42	10.5	1	0.25
峡南	20	6.67	-	-	-	-	-	-	4	2	-	-
富士・東部	42	4.67	-	-	-	-	10	2	43	8.6	2	0.4
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	201	0.06	430	0.14	1545	0.49	68	0.02	67	0.02	1391	0.44
山梨県	-	-	2	0.08	6	0.25	-	-	-	-	19	0.79
中北	-	-	1	0.13	1	0.13	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	2.8
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.5
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	1	0.2	5	1	-	-	-	-	3	0.6
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	13	0.02	283	0.42	5	0.01	13	0.03	287	0.62	18	0.04
山梨県	-	-	10	1.11	-	-	-	-	2	0.2	5	0.5
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.67	4	1.33
中北峡北	-	-	8	4	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	1	0.5
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-

(次ページあり)

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	14		13		12		11	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	横ばいです	平年並みです	5.48	219	5.1	204	7.2	288	7.63	305
RSウイルス感染症	—	—	—	—	0.13	3	0.08	2	0.17	4
咽頭結膜熱	—	—	0.04	1	—	—	0.08	2	0.04	1
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	やや減少しています	平年並みです	2.13	51	2.46	59	2.67	64	2.54	61
感染性胃腸炎	やや増加しています	たいへん流行しています	9.25	222	8.29	199	5.92	142	6.54	157
水痘	横ばいです	平年より少ない発生数です	0.42	10	0.58	14	0.83	20	0.29	7
手足口病	—	—	—	—	0.08	2	—	—	—	—
伝染性紅斑	横ばいです	平年より少ない発生数です	0.08	2	0.08	2	0.04	1	0.08	2
突発性発疹	やや減少しています	平年並みです	0.25	6	0.33	8	0.21	5	0.33	8
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	減少しています	たいへん流行しています	0.79	19	1.13	27	0.54	13	1.13	27
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	横ばいです	たいへん流行しています	1.11	10	0.56	5	0.44	4	0.22	2
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	やや増加しています	流行しています	0.2	2	0.1	1	0.2	2	0.5	5
クラミジア肺炎	増加しています	たいへん流行しています	0.5	5	0.2	2	—	—	—	—

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	富士・東部	男	55

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年15週(04月09日～04月15日)

○ 山梨県内流行情報

感染性胃腸炎が先週に引き続き増加し、1医療機関あたり10人を超えており要注意です。
インフルエンザは、先週よりも増加しています。学級閉鎖などの措置をとる学校もあるので、体調の悪い時は早めに休養をとり、手洗い、うがいを徹底し、体調管理に気をつけましょう。

○ 富士・東部管内流行情報

感染性胃腸炎の報告数が増加中であり、定点当たり報告数(13.4)は県内で最も多い状況です。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	27379	5.56	656	0.21	665	0.21	5614	1.78	30253	9.6	3542	1.12
山梨県	262	6.55	2	0.08	2	0.08	79	3.29	246	10.25	8	0.33
中北	82	6.31	-	-	1	0.13	12	1.5	90	11.25	3	0.38
中北峡北	57	7.13	2	0.4	-	-	55	11	44	8.8	-	-
峡東	27	3.86	-	-	-	-	6	1.5	33	8.25	2	0.5
峡南	21	7	-	-	-	-	-	-	12	6	-	-
富士・東部	75	8.33	-	-	1	0.2	6	1.2	67	13.4	3	0.6
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	268	0.09	527	0.17	1722	0.55	74	0.02	89	0.03	1472	0.47
山梨県	-	-	1	0.04	3	0.13	-	-	1	0.04	15	0.63
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.13	1	0.13
中北峡北	-	-	1	0.2	2	0.4	-	-	-	-	9	1.8
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.5
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.5
富士・東部	-	-	-	-	1	0.2	-	-	-	-	2	0.4
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	18	0.03	319	0.47	4	0.01	14	0.03	331	0.71	14	0.03
山梨県	-	-	4	0.44	-	-	-	-	3	0.3	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.33	-	-
中北峡北	-	-	3	1.5	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	1	0.5	-	-	-	-	2	1	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(次ページあり)

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	15		14		13		12	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	横ばいです	平年並みです	6.55	262	5.48	219	5.1	204	7.2	288
RSウイルス感染症	—	—	0.08	2	—	—	0.13	3	0.08	2
咽頭結膜熱	横ばいです	平年並みです	0.08	2	0.04	1	—	—	0.08	2
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	増加しています	たいへん流行しています	3.29	79	2.13	51	2.46	59	2.67	64
感染性胃腸炎	やや増加しています	たいへん流行しています	10.25	246	9.25	222	8.29	199	5.92	142
水痘	横ばいです	平年より少ない発生数です	0.33	8	0.42	10	0.58	14	0.83	20
手足口病	—	—	—	—	—	—	0.08	2	—	—
伝染性紅斑	横ばいです	平年より少ない発生数です	0.04	1	0.08	2	0.08	2	0.04	1
突発性発疹	やや減少しています	平年より少ない発生数です	0.13	3	0.25	6	0.33	8	0.21	5
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	—	—	0.04	1	—	—	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	やや減少しています	流行しています	0.63	15	0.79	19	1.13	27	0.54	13
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.44	4	1.11	10	0.56	5	0.44	4
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	やや増加しています	たいへん流行しています	0.3	3	0.2	2	0.1	1	0.2	2
クラミジア肺炎	—	—	—	—	0.5	5	0.2	2	—	—

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
五類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感	中北	女	87

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年16週(04月16日～04月22日)

○ 山梨県内流行情報

インフルエンザが先週に引き続き増加しております。
この時期は寒暖の差が大きいので、手洗いうがいを徹底して体調管理には十分注意するとともに、体調が悪い時には早めに医療機関を受診しましょう。

○ 富士・東部管内流行情報

感染性胃腸炎の定点当たり報告数が15週(13.4)から16週(7.2)と減少しましたが、引き続き注意が必要です。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	26395	5.36	666	0.21	777	0.25	6398	2.03	33249	10.56	3414	1.08
山梨県	295	7.38	1	0.04	2	0.08	67	2.79	197	8.21	6	0.25
中北	121	9.31	-	-	1	0.13	13	1.63	76	9.5	1	0.13
中北峡北	70	8.75	-	-	1	0.2	44	8.8	58	11.6	2	0.4
峡東	25	3.57	-	-	-	-	1	0.25	25	6.25	-	-
峡南	10	3.33	-	-	-	-	1	0.5	2	1	-	-
富士・東部	69	7.67	1	0.2	-	-	8	1.6	36	7.2	3	0.6
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	351	0.11	515	0.16	1861	0.59	82	0.03	136	0.04	1312	0.42
山梨県	-	-	1	0.04	10	0.42	-	-	1	0.04	16	0.67
中北	-	-	1	0.13	5	0.63	-	-	1	0.13	-	-
中北峡北	-	-	-	-	1	0.2	-	-	-	-	12	2.4
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	4	0.8	-	-	-	-	4	0.8
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	12	0.02	301	0.44	8	0.02	10	0.02	365	0.79	17	0.04
山梨県	-	-	2	0.22	-	-	-	-	1	0.1	1	0.1
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.33
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	1	0.5	-	-	-	-	1	0.5	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-

(次ページあり)

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	16		15		14		13	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	横ばいです	流行しています	7.38	295	6.55	262	5.48	219	5.1	204
RSウイルス感染症	やや減少しています	流行しています	0.04	1	0.08	2	-	-	0.13	3
咽頭結膜熱	横ばいです	平年並みです	0.08	2	0.08	2	0.04	1	-	-
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	減少しています	流行しています	2.79	67	3.29	79	2.13	51	2.46	59
感染性胃腸炎	減少しています	流行しています	8.21	197	10.25	246	9.25	222	8.29	199
水痘	横ばいです	平年より少ない発生数です	0.25	6	0.33	8	0.42	10	0.58	14
手足口病	-	-	-	-	-	-	-	-	0.08	2
伝染性紅斑	横ばいです	平年より少ない発生数です	0.04	1	0.04	1	0.08	2	0.08	2
突発性発疹	増加しています	平年並みです	0.42	10	0.13	3	0.25	6	0.33	8
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	横ばいです	流行しています	0.04	1	0.04	1	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	横ばいです	流行しています	0.67	16	0.63	15	0.79	19	1.13	27
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.22	2	0.44	4	1.11	10	0.56	5
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	減少しています	平年並みです	0.1	1	0.3	3	0.2	2	0.1	1
クラミジア肺炎	-	-	0.1	1	-	-	0.5	5	0.2	2

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	中北	男	83
二類感染症	結核	中北	男	55

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年17週(04月23日～04月29日)

○ 山梨県内流行情報

感染性胃腸炎が増加しております。また、この時期は疲れが出やすく、ゴールデンウィークは全国で人の動きが活発になり、感染症が発生しやすい時期でもあります。

手洗い、うがいを徹底して、体調管理には十分注意するとともに、体調が悪い時には早めに医療機関を受診しましょう。

○ 富士・東部管内流行情報

感染性胃腸炎の定点当たり報告数が16週(7.2)から17週(14.8)と約2倍に増加しており、引き続き注意が必要です。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	18578	3.82	565	0.18	1045	0.33	6858	2.2	32904	10.54	4035	1.29
山梨県	206	5.15	4	0.17	3	0.13	69	2.88	282	11.75	6	0.25
中北	72	5.54	1	0.13	3	0.38	14	1.75	96	12	3	0.38
中北峡北	61	7.63	-	-	-	-	44	8.8	47	9.4	-	-
峡東	18	2.57	-	-	-	-	3	0.75	60	15	2	0.5
峡南	11	3.67	-	-	-	-	-	-	5	2.5	-	-
富士・東部	44	4.89	3	0.6	-	-	8	1.6	74	14.8	1	0.2
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	379	0.12	599	0.19	1816	0.58	105	0.03	186	0.06	1383	0.44
山梨県	-	-	1	0.04	8	0.33	-	-	-	-	14	0.58
中北	-	-	1	0.13	-	-	-	-	-	-	3	0.38
中北峡北	-	-	-	-	4	0.8	-	-	-	-	6	1.2
峡東	-	-	-	-	2	0.5	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	2	0.4	-	-	-	-	5	1
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	6	0.01	315	0.47	14	0.03	14	0.03	320	0.69	7	0.02
山梨県	-	-	1	0.11	-	-	-	-	3	0.3	1	0.1
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.33	1	0.33
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	17		16		15		14	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	やや減少しています	流行しています	5.15	206	7.38	295	6.55	262	5.48	219
RSウイルス感染症	増加しています	たいへん流行しています	0.17	4	0.04	1	0.08	2	-	-
咽頭結膜熱	横ばいです	平年並みです	0.13	3	0.08	2	0.08	2	0.04	1
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	横ばいです	流行しています	2.88	69	2.79	67	3.29	79	2.13	51
感染性胃腸炎	増加しています	たいへん流行しています	11.75	282	8.21	197	10.25	246	9.25	222
水痘	横ばいです	平年より少ない発生数です	0.25	6	0.25	6	0.33	8	0.42	10
手足口病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	横ばいです	平年より少ない発生数です	0.04	1	0.04	1	0.04	1	0.08	2
突発性発疹	やや減少しています	平年並みです	0.33	8	0.42	10	0.13	3	0.25	6
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	0.04	1	0.04	1	-	-
流行性耳下腺炎	横ばいです	平年並みです	0.58	14	0.67	16	0.63	15	0.79	19
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.11	1	0.22	2	0.44	4	1.11	10
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	増加しています	流行しています	0.3	3	0.1	1	0.3	3	0.2	2
クラミジア肺炎	横ばいです	流行しています	0.1	1	0.1	1	-	-	0.5	5

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	中北	女	76
二類感染症	結核	峡南	女	51
二類感染症	結核	富士・東部	男	29
二類感染症	結核	富士・東部	男	62
二類感染症	結核	富士・東部	女	57
二類感染症	結核	富士・東部	女	60
四類感染症	レジオネラ症	峡東	女	91
五類感染症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	中北	女	97

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年18週(04月30日～05月06日)

○ 山梨県内流行情報

インフルエンザ・感染性胃腸炎とも、減少傾向にあります。しかし、この時期は昼夜の寒暖差が大きく、体の疲れも出やすいので、体調を崩しやすい時期でもあります。
手洗い、うがいを徹底して、体調管理には十分注意するとともに、体調が悪い時には早めに医療機関を受診しましょう。

○ 富士・東部管内流行情報

管内で大きく流行している感染症はありませんが、4月下旬から幼児施設等での感染性胃腸炎による集団発生が数事例確認されており、引き続き注意が必要です。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	7178	1.5	334	0.11	569	0.19	3366	1.1	16035	5.24	2757	0.9
山梨県	31	0.78	-	-	1	0.04	26	1.08	83	3.46	9	0.38
中北	6	0.46	-	-	-	-	8	1	32	4	3	0.38
中北峡北	11	1.38	-	-	-	-	13	2.6	18	3.6	4	0.8
峡東	2	0.29	-	-	-	-	1	0.25	18	4.5	1	0.25
峡南	4	1.33	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-
富士・東部	8	0.89	-	-	1	0.2	4	0.8	13	2.6	1	0.2
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	289	0.09	343	0.11	1042	0.34	21	0.01	128	0.04	925	0.3
山梨県	-	-	-	-	2	0.08	-	-	-	-	18	0.75
中北	-	-	-	-	1	0.13	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	1	0.2	-	-	-	-	8	1.6
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	2
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	6	0.01	266	0.4	6	0.01	3	0.01	294	0.65	7	0.02
山梨県	-	-	1	0.11	-	-	-	-	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	18		17		16		15	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	減少しています	平年並みです	0.78	31	5.15	206	7.38	295	6.55	262
RSウイルス感染症	—	—	—	—	0.17	4	0.04	1	0.08	2
咽頭結膜熱	やや減少しています	平年並みです	0.04	1	0.13	3	0.08	2	0.08	2
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	減少しています	平年並みです	1.08	26	2.88	69	2.79	67	3.29	79
感染性胃腸炎	減少しています	平年並みです	3.46	83	11.75	282	8.21	197	10.25	246
水痘	横ばいです	平年より少ない発生数です	0.38	9	0.25	6	0.25	6	0.33	8
手足口病	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
伝染性紅斑	—	—	—	—	0.04	1	0.04	1	0.04	1
突発性発疹	減少しています	平年より少ない発生数です	0.08	2	0.33	8	0.42	10	0.13	3
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	—	—	—	—	—	—	0.04	1	0.04	1
流行性耳下腺炎	やや増加しています	流行しています	0.75	18	0.58	14	0.67	16	0.63	15
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.11	1	0.11	1	0.22	2	0.44	4
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	0.3	3	0.1	1	0.3	3
クラミジア肺炎	—	—	—	—	0.1	1	0.1	1	—	—

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年19週(05月07日～05月13日)

○ 山梨県内流行情報

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が峡北保健所管内で再び急増しており、発熱を伴う咽頭発赤や莓舌が見られた時は注意が必要です。また、感染性胃腸炎は全国的に再度増加しており、小学校での集団発生が見られることから、引き続き注意が必要です。

予防には、患者との濃厚接触を避け、うがい・手洗いなどの一般的な感染症対策が重要となります。異常を感じたら、早めに医療機関を受診するように心がけましょう。

○ 富士・東部管内流行情報

管内で大きく流行している感染症はありませんが、インフルエンザによる学級閉鎖等の臨時休業措置や感染性胃腸炎の集団発生が確認されており、引き続き注意が必要です。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	4151	0.88	344	0.11	1182	0.39	6302	2.1	23307	7.75	5274	1.75
山梨県	25	0.63	1	0.04	11	0.46	58	2.42	152	6.33	18	0.75
中北	5	0.38	-	-	3	0.38	16	2	62	7.75	5	0.63
中北峡北	2	0.25	-	-	2	0.4	32	6.4	26	5.2	3	0.6
峡東	1	0.14	-	-	-	-	1	0.25	25	6.25	1	0.25
峡南	1	0.33	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-
富士・東部	16	1.78	1	0.2	6	1.2	9	1.8	37	7.4	9	1.8
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	343	0.11	406	0.14	1864	0.62	93	0.03	264	0.09	1521	0.51
山梨県	1	0.04	-	-	8	0.33	-	-	-	-	12	0.5
中北	-	-	-	-	3	0.38	-	-	-	-	3	0.38
中北峡北	-	-	-	-	1	0.2	-	-	-	-	1	0.2
峡東	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	1	0.2	-	-	3	0.6	-	-	-	-	8	1.6
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	11	0.02	458	0.71	16	0.04	13	0.03	328	0.74	23	0.05
山梨県	-	-	3	0.33	-	-	-	-	3	0.3	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.33	-	-
中北峡北	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	19		18		17		16	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	横ばいです	平年並みです	0.63	25	0.78	31	5.15	206	7.38	295
RSウイルス感染症	－	－	0.04	1	－	－	0.17	4	0.04	1
咽頭結膜熱	増加しています	たいへん流行しています	0.46	11	0.04	1	0.13	3	0.08	2
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	増加しています	流行しています	2.42	58	1.08	26	2.88	69	2.79	67
感染性胃腸炎	増加しています	平年並みです	6.33	152	3.46	83	11.75	282	8.21	197
水痘	増加しています	平年並みです	0.75	18	0.38	9	0.25	6	0.25	6
手足口病	－	－	0.04	1	－	－	－	－	－	－
伝染性紅斑	－	－	－	－	－	－	0.04	1	0.04	1
突発性発疹	増加しています	平年並みです	0.33	8	0.08	2	0.33	8	0.42	10
百日咳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヘルパンギーナ	－	－	－	－	－	－	－	－	0.04	1
流行性耳下腺炎	減少しています	平年並みです	0.5	12	0.75	18	0.58	14	0.67	16
急性出血性結膜炎	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.33	3	0.11	1	0.11	1	0.22	2
細菌性髄膜炎	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎	－	－	0.3	3	－	－	0.3	3	0.1	1
クラミジア肺炎	－	－	－	－	－	－	0.1	1	0.1	1

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	中北	女	12
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	中北	男	29

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年20週(05月14日～05月20日)

○ 山梨県内流行情報

先週に引き続きA群溶血性レンサ球菌咽頭炎が中北保健所峡北支所管内で流行しており、全県的に感染性胃腸炎も増加しているため注意が必要です。また、今週は流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)が中北保健所、富士東部保健所管内で増加しております。

予防には、患者との濃厚接触を避け、うがい・手洗いなどの一般的な感染症対策が重要となります。異常を感じたら、早めに医療機関を受診するように心がけましょう。

○ 富士・東部管内流行情報

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数が18週(2.0)、19週(1.6)、20週(2.6)と増加しています。また、感染性胃腸炎の定点当たり報告数(11.8)は県内で最も多い状況で、集団発生も確認されており、引き続き注意が必要です。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	2652	0.59	341	0.12	1025	0.35	7230	2.5	25157	8.7	3612	1.25
山梨県	27	0.68	-	-	3	0.13	85	3.54	227	9.46	24	1
中北	3	0.23	-	-	2	0.25	19	2.38	80	10	6	0.75
中北峡北	5	0.63	-	-	1	0.2	53	10.6	54	10.8	11	2.2
峡東	2	0.29	-	-	-	-	7	1.75	27	6.75	1	0.25
峡南	2	0.67	-	-	-	-	-	-	7	3.5	-	-
富士・東部	15	1.67	-	-	-	-	6	1.2	59	11.8	6	1.2
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	408	0.14	475	0.16	1747	0.6	96	0.03	517	0.18	1393	0.48
山梨県	-	-	2	0.08	8	0.33	-	-	-	-	31	1.29
中北	-	-	2	0.25	4	0.5	-	-	-	-	10	1.25
中北峡北	-	-	-	-	1	0.2	-	-	-	-	7	1.4
峡東	-	-	-	-	2	0.5	-	-	-	-	1	0.25
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	1	0.2	-	-	-	-	13	2.6
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	13	0.02	346	0.54	11	0.03	9	0.02	353	0.8	12	0.03
山梨県	-	-	3	0.33	-	-	-	-	1	0.1	-	-
中北	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.33	-	-
中北峡北	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(次ページあり)

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	20		19		18		17	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	横ばいです	平年並みです	0.68	27	0.63	25	0.78	31	5.15	206
RSウイルス感染症	－	－	－	－	0.04	1	－	－	0.17	4
咽頭結膜熱	減少しています	平年並みです	0.13	3	0.46	11	0.04	1	0.13	3
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	増加しています	流行しています	3.54	85	2.42	58	1.08	26	2.88	69
感染性胃腸炎	増加しています	たいへん流行しています	9.46	227	6.33	152	3.46	83	11.75	282
水痘	やや増加しています	平年並みです	1	24	0.75	18	0.38	9	0.25	6
手足口病	－	－	－	－	0.04	1	－	－	－	－
伝染性紅斑	－	－	0.08	2	－	－	－	－	0.04	1
突発性発疹	横ばいです	平年並みです	0.33	8	0.33	8	0.08	2	0.33	8
百日咳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヘルパンギーナ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
流行性耳下腺炎	増加しています	たいへん流行しています	1.29	31	0.5	12	0.75	18	0.58	14
急性出血性結膜炎	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.33	3	0.33	3	0.11	1	0.11	1
細菌性髄膜炎	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎	減少しています	平年並みです	0.1	1	0.3	3	－	－	0.3	3
クラミジア肺炎	－	－	－	－	－	－	－	－	0.1	1

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年21週(05月21日～05月27日)

○ 山梨県内流行情報

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が中北保健所峡北支所及び峡東保健所管内で流行しております。感染性胃腸炎は全県的には減少しましたが、中北保健所管内においては依然高い状態が続いております。また、県内での流行はありませんが、一部の県では風疹患者の増加が見られますので、引き続きうがい・手洗いの励行をお願いします。

○ 富士・東部管内流行情報

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数が21週(1.4)と減少しましたが、全国定点当たり報告数を上回っており、引き続き注意が必要です。また、水痘(水ぼうそう)の定点当たり報告数が20週(1.2)から21週(3.4)と約3倍に増加しており、県内で最も多い状況です。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	2237	0.46	394	0.13	1446	0.46	8523	2.7	28833	9.15	4562	1.45
山梨県	9	0.23	-	-	6	0.25	54	2.25	189	7.88	26	1.08
中北	1	0.08	-	-	3	0.38	13	1.63	80	10	5	0.63
中北峡北	3	0.38	-	-	1	0.2	24	4.8	36	7.2	4	0.8
峡東	1	0.14	-	-	-	-	13	3.25	26	6.5	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1.5	-	-
富士・東部	4	0.44	-	-	2	0.4	4	0.8	44	8.8	17	3.4
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	563	0.18	479	0.15	1982	0.63	117	0.04	702	0.22	1291	0.41
山梨県	-	-	3	0.13	7	0.29	-	-	1	0.04	20	0.83
中北	-	-	3	0.38	3	0.38	-	-	-	-	10	1.25
中北峡北	-	-	-	-	2	0.4	-	-	-	-	2	0.4
峡東	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-	1	0.25
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	1	0.2	-	-	1	0.2	7	1.4
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	11	0.02	380	0.56	15	0.03	17	0.04	442	0.95	13	0.03
山梨県	-	-	2	0.22	-	-	-	-	2	0.2	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.67	-	-
中北峡北	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(次ページあり)

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	21		20		19		18	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	横ばいです	平年並みです	0.23	9	0.68	27	0.63	25	0.78	31
RSウイルス感染症	—	—	—	—	—	—	0.04	1	—	—
咽頭結膜熱	やや増加しています	平年並みです	0.25	6	0.13	3	0.46	11	0.04	1
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	減少しています	平年並みです	2.25	54	3.54	85	2.42	58	1.08	26
感染性胃腸炎	減少しています	流行しています	7.88	189	9.46	227	6.33	152	3.46	83
水痘	横ばいです	平年並みです	1.08	26	1	24	0.75	18	0.38	9
手足口病	—	—	—	—	—	—	0.04	1	—	—
伝染性紅斑	横ばいです	平年より少ない発生数です	0.13	3	0.08	2	—	—	—	—
突発性発疹	横ばいです	平年並みです	0.29	7	0.33	8	0.33	8	0.08	2
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	—	—	0.04	1	—	—	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	減少しています	流行しています	0.83	20	1.29	31	0.5	12	0.75	18
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.22	2	0.33	3	0.33	3	0.11	1
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	やや増加しています	平年並みです	0.2	2	0.1	1	0.3	3	—	—
クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	中北	男	71
二類感染症	結核	中北	男	91
二類感染症	結核	峡南	男	62
四類感染症	レジオネラ症	峡東	女	60

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年22週(05月28日～06月03日)

○ 山梨県内流行情報

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が中北保健所峡北支所で流行しております。感染性胃腸炎は全県的には減少しましたが、中北保健所管内においては依然高い状態が続いております。その他に、流行性耳下腺炎・水痘・突発性発疹が増加しております。

症状が現れたら外出は避け、早めに医療機関を受診してください。

○ 富士・東部管内流行情報

水痘(水ぼうそう)の定点当たり報告数は21週(3.4)から22週(2.2)と減少しましたが、県内で最も多い状況です。また、流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は、依然全国定点当たり報告数を上回っており、引き続き注意が必要です。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	1529	0.31	381	0.12	1550	0.49	8958	2.84	28682	9.09	4476	1.42
山梨県	3	0.08	—	—	4	0.17	68	2.83	183	7.63	26	1.08
中北	1	0.08	—	—	3	0.38	14	1.75	80	10	5	0.63
中北峡北	1	0.13	—	—	1	0.2	36	7.2	24	4.8	4	0.8
峡東	—	—	—	—	—	—	8	2	29	7.25	6	1.5
峡南	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	—	—
富士・東部	1	0.11	—	—	—	—	10	2	48	9.6	11	2.2
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	652	0.21	552	0.18	2170	0.69	146	0.05	1135	0.36	1616	0.51
山梨県	—	—	3	0.13	13	0.54	—	—	1	0.04	30	1.25
中北	—	—	3	0.38	2	0.25	—	—	—	—	18	2.25
中北峡北	—	—	—	—	5	1	—	—	—	—	3	0.6
峡東	—	—	—	—	1	0.25	—	—	1	0.25	1	0.25
峡南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
富士・東部	—	—	—	—	5	1	—	—	—	—	8	1.6
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	14	0.02	395	0.58	12	0.03	12	0.03	386	0.83	19	0.04
山梨県	—	—	2	0.22	—	—	—	—	1	0.1	1	0.1
中北	—	—	—	—	—	—	—	—	1	0.33	1	0.33
中北峡北	—	—	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—
峡東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
峡南	…	…	…	…	—	—	—	—	—	—	—	—
富士・東部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	22		21		20		19	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	横ばいです	平年並みです	0.08	3	0.23	9	0.68	27	0.63	25
RSウイルス感染症	—	—	—	—	—	—	—	—	0.04	1
咽頭結膜熱	やや減少しています	平年並みです	0.17	4	0.25	6	0.13	3	0.46	11
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	増加しています	平年並みです	2.83	68	2.25	54	3.54	85	2.42	58
感染性胃腸炎	横ばいです	流行しています	7.63	183	7.88	189	9.46	227	6.33	152
水痘	横ばいです	平年並みです	1.08	26	1.08	26	1	24	0.75	18
手足口病	—	—	—	—	—	—	—	—	0.04	1
伝染性紅斑	横ばいです	平年より少ない発生数です	0.13	3	0.13	3	0.08	2	—	—
突発性発疹	増加しています	たいへん流行しています	0.54	13	0.29	7	0.33	8	0.33	8
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	横ばいです	平年並みです	0.04	1	0.04	1	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	増加しています	流行しています	1.25	30	0.83	20	1.29	31	0.5	12
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.22	2	0.22	2	0.33	3	0.33	3
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	やや減少しています	平年並みです	0.1	1	0.2	2	0.1	1	0.3	3
クラミジア肺炎	—	—	0.1	1	—	—	—	—	—	—

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	峡南	男	95
四類感染症	レジオネラ症	富士・東部	男	71

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年23週(06月04日～06月10日)

○ 山梨県内流行情報

先週に引き続き、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が中北保健福祉事務所峡北支所を中心に流行しており、感染性胃腸炎も全県で流行が続いていますので注意が必要です。

また、水痘(水ぼうそう)が増加しています。

体調に異常を感じた時は、無理せず休養を取り、早めに医療機関を受診しましょう！

○ 富士・東部管内流行情報

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は22週(1.6)から23週(1.4)と減少しましたが、県内で最も多い状況です。また、水痘(水ぼうそう)の定点当たり報告数は、依然全国定点当たり報告数を上回っており、引き続き注意が必要です。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	1034	0.21	325	0.1	1637	0.52	8174	2.59	25192	8	4679	1.49
山梨県	-	-	-	-	5	0.21	71	2.96	177	7.38	35	1.46
中北	-	-	-	-	2	0.25	13	1.63	59	7.38	15	1.88
中北峡北	-	-	-	-	3	0.6	42	8.4	39	7.8	9	1.8
峡東	-	-	-	-	-	-	10	2.5	36	9	2	0.5
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	6	3	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	6	1.2	37	7.4	9	1.8
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	811	0.26	579	0.18	2102	0.67	130	0.04	1705	0.54	1485	0.47
山梨県	-	-	1	0.04	9	0.38	-	-	1	0.04	16	0.67
中北	-	-	1	0.13	1	0.13	-	-	-	-	7	0.88
中北峡北	-	-	-	-	3	0.6	-	-	-	-	1	0.2
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.25	1	0.25
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	5	1	-	-	-	-	7	1.4
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	10	0.01	419	0.62	13	0.03	13	0.03	408	0.88	25	0.05
山梨県	-	-	3	0.33	-	-	-	-	7	0.7	1	0.1
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1.33	1	0.33
中北峡北	-	-	3	1.5	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1.5	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	23		22		21		20	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	—	—	—	—	0.08	3	0.23	9	0.68	25
RSウイルス感染症	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
咽頭結膜熱	横ばいです	平年並みです	0.21	5	0.17	4	0.25	6	0.13	11
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	横ばいです	平年並みです	2.96	71	2.83	68	2.25	54	3.54	58
感染性胃腸炎	横ばいです	たいへん流行しています	7.38	177	7.63	183	7.88	189	9.46	152
水痘	増加しています	平年並みです	1.46	35	1.08	26	1.08	26	1	18
手足口病	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
伝染性紅斑	やや減少しています	平年より少ない発生数です	0.04	1	0.13	3	0.13	3	0.08	—
突発性発疹	減少しています	平年並みです	0.38	9	0.54	13	0.29	7	0.33	8
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	横ばいです	平年並みです	0.04	1	0.04	1	0.04	1	—	—
流行性耳下腺炎	減少しています	平年並みです	0.67	16	1.25	30	0.83	20	1.29	12
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.33	3	0.22	2	0.22	2	0.33	3
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	増加しています	たいへん流行しています	0.7	7	0.1	1	0.2	2	0.1	3
クラミジア肺炎	横ばいです	平年並みです	0.1	1	0.1	1	—	—	—	—

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	中北	女	87
二類感染症	結核	富士・東部	男	89
二類感染症	結核	富士・東部	女	25
二類感染症	結核	富士・東部	女	76

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年24週(06月11日～06月17日)

○ 山梨県内流行情報

中北保健所峡北支所管内でA群溶血性レンサ球菌咽頭炎が大変流行しています。全国的にも感染性胃腸炎に次いで報告が多く、注意が必要です。予防としては、患者との濃厚接触を避けることが最も重要です。

また、感染性胃腸炎の流行も続いていますので、こまめな手洗い、うがいを心がけましょう。

○ 富士・東部管内流行情報

水痘(水ぼうそう)の報告数は、県内で最も多く、依然全国定点当たり報告数を上回る状況が続いております。また、感染性胃腸炎の報告数は減少していますが、平年より流行している傾向がみられ注意が必要です。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	823	0.17	314	0.1	1751	0.56	8275	2.63	23211	7.37	4434	1.41
山梨県	-	-	-	-	6	0.25	93	3.88	143	5.96	20	0.83
中北	-	-	-	-	2	0.25	15	1.88	44	5.5	5	0.63
中北峡北	-	-	-	-	3	0.6	56	11.2	35	7	3	0.6
峡東	-	-	-	-	-	-	13	3.25	28	7	2	0.5
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.5	-	-
富士・東部	-	-	-	-	1	0.2	9	1.8	35	7	10	2
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	1090	0.35	527	0.17	2121	0.67	111	0.04	2766	0.88	1533	0.49
山梨県	-	-	5	0.21	7	0.29	-	-	-	-	20	0.83
中北	-	-	4	0.5	2	0.25	-	-	-	-	14	1.75
中北峡北	-	-	-	-	1	0.2	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-	1	0.25
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	1	0.2	3	0.6	-	-	-	-	5	1
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	9	0.01	381	0.56	7	0.02	14	0.03	382	0.82	16	0.03
山梨県	-	-	6	0.67	-	-	-	-	7	0.7	1	0.1
中北	-	-	1	0.33	-	-	-	-	5	1.67	1	0.33
中北峡北	-	-	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	24		23		22		21	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	—	—	—	—	—	—	0.08	3	0.23	9
RSウイルス感染症	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
咽頭結膜熱	横ばいです	平年並みです	0.25	6	0.21	5	0.17	4	0.25	6
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	増加しています	たいへん流行しています	3.88	93	2.96	71	2.83	68	2.25	54
感染性胃腸炎	減少しています	たいへん流行しています	5.96	143	7.38	177	7.63	183	7.88	189
水痘	減少しています	平年並みです	0.83	20	1.46	35	1.08	26	1.08	26
手足口病	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
伝染性紅斑	増加しています	平年より少ない発生数です	0.21	5	0.04	1	0.13	3	0.13	3
突発性発疹	やや減少しています	平年並みです	0.29	7	0.38	9	0.54	13	0.29	7
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	—	—	—	—	0.04	1	0.04	1	0.04	1
流行性耳下腺炎	やや増加しています	平年並みです	0.83	20	0.67	16	1.25	30	0.83	20
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.67	6	0.33	3	0.22	2	0.22	2
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	横ばいです	たいへん流行しています	0.7	7	0.7	7	0.1	1	0.2	2
クラミジア肺炎	横ばいです	平年並みです	0.1	1	0.1	1	0.1	1	—	—

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	中北	女	39
四類感染症	レジオネラ症	富士・東部	男	64
五類感染症	風しん	中北	男	48

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年25週(06月18日～06月24日)

○ 山梨県内流行情報

先週に引き続き、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が中北保健所峡北支所管内で大変流行しています。発熱とともに軟口蓋の小点状出血、莓舌あるいは額と頬が紅潮し、口の周りのみ蒼白にみえる(口囲蒼白)などの特徴的な症状が現れた場合は、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎を疑い、早めに医療機関を受診しましょう。

予防方法としては、患者との濃厚接触をさけることが最も重要であり、外出後のうがい、手洗いの励行などの一般的な予防策の励行を心がけましょう。

○ 富士・東部管内流行情報

先週に引き続き、水痘(水ぼうそう)の定点当たり報告数は依然全国を上回る状況が続いております。また、感染性胃腸炎の報告数は減少傾向にありますが、平年に比べ流行しており、引き続き注意が必要です。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	750	0.15	341	0.11	1700	0.54	7357	2.34	20202	6.42	4058	1.29
山梨県	-	-	-	-	3	0.13	102	4.25	148	6.17	41	1.71
中北	-	-	-	-	1	0.13	9	1.13	54	6.75	4	0.5
中北峡北	-	-	-	-	2	0.4	72	14.4	25	5	20	4
峡東	-	-	-	-	-	-	12	3	31	7.75	6	1.5
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1.5	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	9	1.8	35	7	11	2.2
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	1464	0.47	644	0.2	2111	0.67	103	0.03	4513	1.43	1702	0.54
山梨県	-	-	3	0.13	14	0.58	-	-	4	0.17	18	0.75
中北	-	-	1	0.13	5	0.63	-	-	-	-	6	0.75
中北峡北	-	-	-	-	6	1.2	-	-	-	-	4	0.8
峡東	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-	1	0.25
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	1	0.2	3	0.6	-	-	4	0.8	7	1.4
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	14	0.02	365	0.54	4	0.01	20	0.04	422	0.9	10	0.02
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	5	0.5	1	0.1
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	1	0.33
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(次ページあり)

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	25		24		23		22	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	—	—	—	—	—	—	—	—	0.08	3
RSウイルス感染症	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
咽頭結膜熱	やや減少しています	平年並みです	0.13	3	0.25	6	0.21	5	0.17	4
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	やや増加しています	たいへん流行しています	4.25	102	3.88	93	2.96	71	2.83	68
感染性胃腸炎	横ばいです	たいへん流行しています	6.17	148	5.96	143	7.38	177	7.63	183
水痘	増加しています	たいへん流行しています	1.71	41	0.83	20	1.46	35	1.08	26
手足口病	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
伝染性紅斑	やや減少しています	平年より少ない発生数です	0.13	3	0.21	5	0.04	1	0.13	3
突発性発疹	増加しています	流行しています	0.58	14	0.29	7	0.38	9	0.54	13
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	—	—	0.17	4	—	—	0.04	1	0.04	1
流行性耳下腺炎	横ばいです	平年並みです	0.75	18	0.83	20	0.67	16	1.25	30
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	—	—	—	—	0.67	6	0.33	3	0.22	2
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	減少しています	たいへん流行しています	0.5	5	0.7	7	0.7	7	0.1	1
クラミジア肺炎	横ばいです	平年並みです	0.1	1	0.1	1	0.1	1	0.1	1

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	中北	男	88
二類感染症	結核	峡南	男	71

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年26週(06月25日～07月01日)

○ 山梨県内流行情報

引き続き峡北支所管内でA群溶血性レンサ球菌咽頭炎が大変流行しています。
全国でも引き続き多くの発生が報告されていますので、突然の発熱・咽頭痛・莓舌などの症状がみられる時は、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎を疑い、外部の人との接触を控え、早めに医療機関を受診しましょう。

○ 富士・東部管内流行情報

水痘(水ぼうそう)と流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の報告数は県内で最も多く、定点当たり報告数は依然全国を上回る状況が続いており、引き続き注意が必要です。
また、当管内においては結核による集団感染事例の発生が確認されました。2週間以上の咳、たんが続く場合は、結核の可能性もありますので、早めに医療機関を受診しましょう。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	766	0.16	349	0.11	1810	0.57	7239	2.3	18144	5.76	3851	1.22
山梨県	-	-	-	-	9	0.38	97	4.04	142	5.92	28	1.17
中北	-	-	-	-	6	0.75	9	1.13	51	6.38	8	1
中北峡北	-	-	-	-	3	0.6	72	14.4	46	9.2	7	1.4
峡東	-	-	-	-	-	-	8	2	19	4.75	4	1
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	8	1.6	24	4.8	9	1.8
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	1848	0.59	673	0.21	2090	0.66	104	0.03	7155	2.27	1562	0.5
山梨県	1	0.04	1	0.04	12	0.5	-	-	4	0.17	20	0.83
中北	-	-	-	-	2	0.25	-	-	2	0.25	7	0.88
中北峡北	-	-	-	-	5	1	-	-	-	-	3	0.6
峡東	1	0.25	-	-	2	0.5	-	-	-	-	1	0.25
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	1	0.2	3	0.6	-	-	2	0.4	9	1.8
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	10	0.01	400	0.59	11	0.02	27	0.06	385	0.83	17	0.04
山梨県	-	-	3	0.33	-	-	-	-	4	0.4	-	-
中北	-	-	1	0.33	-	-	-	-	2	0.67	-	-
中北峡北	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	26		25		24		23	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
RSウイルス感染症	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
咽頭結膜熱	増加しています	平年並みです	0.38	9	0.13	3	0.25	6	0.21	5
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	横ばいです	たいへん流行しています	4.04	97	4.25	102	3.88	93	2.96	71
感染性胃腸炎	横ばいです	たいへん流行しています	5.92	142	6.17	148	5.96	143	7.38	177
水痘	減少しています	流行しています	1.17	28	1.71	41	0.83	20	1.46	35
手足口病	—	—	0.04	1	—	—	—	—	—	—
伝染性紅斑	やや減少しています	平年より少ない発生数です	0.04	1	0.13	3	0.21	5	0.04	1
突発性発疹	やや減少しています	平年並みです	0.5	12	0.58	14	0.29	7	0.38	9
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	横ばいです	平年並みです	0.17	4	0.17	4	—	—	0.04	1
流行性耳下腺炎	横ばいです	平年並みです	0.83	20	0.75	18	0.83	20	0.67	16
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	—	—	0.33	3	—	—	0.67	6	0.33	3
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	やや減少しています	たいへん流行しています	0.4	4	0.5	5	0.7	7	0.7	7
クラミジア肺炎	—	—	—	—	0.1	1	0.1	1	0.1	1

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
五類感染症	風しん	中北	男	35

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年27週(07月02日～07月08日)

○ 山梨県内流行情報

中北保健所管内で、マイコプラズマ肺炎が増加しています。咳や痰などによる飛沫感染を主とし、学校や保育施設、家庭内で経気道的に伝播されるので、頑固で長期にわたる咳症状、発熱、胸痛がある場合には注意が必要です。

また、峡北支所管内でのA群溶血性レンサ球菌咽頭炎は減少してきましたが、感染性胃腸炎が引き続き流行しています。

気温・湿度ともに高く、食中毒も起きやすい季節ですので、体調管理に併せて食品の管理にも気を配りましょう！

○ 富士・東部管内流行情報

水痘(水ぼうそう)と流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の定点当たり報告数は依然全国を上回る状況が続いており、引き続き注意が必要です。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	754	0.15	345	0.11	1693	0.54	6191	1.97	16386	5.2	3382	1.07
山梨県	-	-	-	-	8	0.33	59	2.46	129	5.38	19	0.79
中北	-	-	-	-	3	0.38	6	0.75	51	6.38	1	0.13
中北峡北	-	-	-	-	3	0.6	29	5.8	37	7.4	9	1.8
峡東	-	-	-	-	-	-	18	4.5	12	3	1	0.25
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1.5	-	-
富士・東部	-	-	-	-	2	0.4	6	1.2	26	5.2	8	1.6
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	2104	0.67	671	0.21	2088	0.66	123	0.04	9632	3.06	1742	0.55
山梨県	5	0.21	1	0.04	8	0.33	-	-	3	0.13	17	0.71
中北	-	-	1	0.13	4	0.5	-	-	2	0.25	5	0.63
中北峡北	1	0.2	-	-	2	0.4	-	-	-	-	1	0.2
峡東	2	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.5
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	2	0.4	-	-	2	0.4	-	-	1	0.2	9	1.8
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	12	0.02	367	0.54	10	0.02	12	0.03	441	0.95	20	0.04
山梨県	-	-	2	0.22	-	-	-	-	9	0.9	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	7	2.33	-	-
中北峡北	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(次ページあり)

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	27		26		25		24	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
RSウイルス感染症	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
咽頭結膜熱	横ばいです	平年並みです	0.33	8	0.38	9	0.13	3	0.25	6
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	減少しています	たいへん流行しています	2.46	59	4.04	97	4.25	102	3.88	93
感染性胃腸炎	横ばいです	たいへん流行しています	5.38	129	5.92	142	6.17	148	5.96	143
水痘	減少しています	平年並みです	0.79	19	1.17	28	1.71	41	0.83	20
手足口病	やや増加しています	平年並みです	0.21	5	0.04	1	—	—	—	—
伝染性紅斑	横ばいです	平年より少ない発生数です	0.04	1	0.04	1	0.13	3	0.21	5
突発性発疹	減少しています	平年並みです	0.33	8	0.5	12	0.58	14	0.29	7
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	横ばいです	平年並みです	0.13	3	0.17	4	0.17	4	—	—
流行性耳下腺炎	やや減少しています	平年並みです	0.71	17	0.83	20	0.75	18	0.83	20
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.22	2	0.33	3	—	—	0.67	6
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	増加しています	たいへん流行しています	0.9	9	0.4	4	0.5	5	0.7	7
クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	0.1	1	0.1	1

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	中北	男	81
二類感染症	結核	富士・東部	女	46
四類感染症	レジオネラ症	峡東	男	62

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年28週(07月09日～07月15日)

○ 山梨県内流行情報

感染性胃腸炎、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が、先週に引き続き流行しています。
 全国では、小児の夏風邪の代表疾患であるヘルパンギーナが流行しています。また、東京や大阪などの大都市圏で風疹の発生が多くみられ、沖縄県ではインフルエンザが大変流行しています。
 夏休み等で県外へ出かける際は、これらの感染症に注意し、体調に異常を感じたらすぐに医療機関を受診しましょう！

○ 富士・東部管内流行情報

水痘(水ぼうそう)の定点当たり報告数が27週(1.6)から28週(3.0)と約2倍に増加しており、引き続き注意が必要です。
 また、当管内においても風しんの発生届がありました。風しんの定期予防接種対象者は、確実に接種を受けるとともに、発熱、発疹等症状が現れたら、早めに医療機関を受診しましょう。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	1062	0.22	397	0.13	1643	0.53	5301	1.7	13976	4.47	3409	1.09
山梨県	-	-	-	-	7	0.29	63	2.63	109	4.54	23	0.96
中北	-	-	-	-	3	0.38	6	0.75	45	5.63	4	0.5
中北峡北	-	-	-	-	1	0.2	30	6	20	4	4	0.8
峡東	-	-	-	-	-	-	15	3.75	15	3.75	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	5	2.5	8	4	-	-
富士・東部	-	-	-	-	3	0.6	7	1.4	21	4.2	15	3
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	2911	0.93	636	0.2	2191	0.7	114	0.04	13795	4.42	1741	0.56
山梨県	5	0.21	1	0.04	6	0.25	-	-	4	0.17	17	0.71
中北	1	0.13	1	0.13	1	0.13	-	-	2	0.25	4	0.5
中北峡北	-	-	-	-	1	0.2	-	-	1	0.2	4	0.8
峡東	2	0.5	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	2	0.4	-	-	3	0.6	-	-	1	0.2	9	1.8
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	10	0.01	349	0.52	4	0.01	22	0.05	419	0.91	20	0.04
山梨県	-	-	5	0.56	-	-	-	-	8	0.8	2	0.2
中北	-	-	1	0.33	-	-	-	-	5	1.67	2	0.67
中北峡北	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1.5	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-

(次ページあり)

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	28		27		26		25	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
RSウイルス感染症	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
咽頭結膜熱	横ばいです	平年並みです	0.29	7	0.33	8	0.38	9	0.13	3
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	横ばいです	たいへん流行しています	2.63	63	2.46	59	4.04	97	4.25	102
感染性胃腸炎	やや減少しています	たいへん流行しています	4.54	109	5.38	129	5.92	142	6.17	148
水痘	やや増加しています	流行しています	0.96	23	0.79	19	1.17	28	1.71	41
手足口病	横ばいです	平年並みです	0.21	5	0.21	5	0.04	1	—	—
伝染性紅斑	横ばいです	平年より少ない発生数です	0.04	1	0.04	1	0.04	1	0.13	3
突発性発疹	やや減少しています	平年並みです	0.25	6	0.33	8	0.5	12	0.58	14
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	横ばいです	平年並みです	0.17	4	0.13	3	0.17	4	0.17	4
流行性耳下腺炎	横ばいです	平年並みです	0.71	17	0.71	17	0.83	20	0.75	18
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.56	5	0.22	2	0.33	3	—	—
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	やや減少しています	たいへん流行しています	0.8	8	0.9	9	0.4	4	0.5	5
クラミジア肺炎	—	—	0.2	2	—	—	—	—	0.1	1

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	峡南	男	80

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年29週(07月16日～07月22日)

○ 山梨県内流行情報

県内ではA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎が減少してきましたが、引き続き注意が必要です。全国では、小児の夏風邪の代表疾患であるヘルパンギーナが流行しており、首都圏、関西圏の大都市では風疹が引き続き多く報告されていますので、夏休みなどでお出かけの際は注意が必要です。

山梨県では8月は麻しん予防接種強化月間です。風疹の予防接種が済んでいない方も、この機会に麻しん・風疹混合ワクチン(MR)の予防接種を受けましょう！

○ 富士・東部管内流行情報

水痘(水ぼうそう)が減少してきましたが、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)は、先週に引き続き多く報告されています。

また、咽頭結膜熱の定点当たり報告数が28週(0.6)から29週(1.8)と急増しており、注意が必要です。咽頭結膜熱はプール等を介して流行することもあるため、発熱、咽頭炎、結膜炎等症状が現れたら、早めに医療機関を受診しましょう。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	1356	0.28	405	0.13	1347	0.43	3806	1.21	11058	3.51	2412	0.77
山梨県	-	-	-	-	11	0.46	40	1.67	67	2.79	14	0.58
中北	-	-	-	-	2	0.25	7	0.88	38	4.75	1	0.13
中北峡北	-	-	-	-	-	-	24	4.8	14	2.8	5	1
峡東	-	-	-	-	-	-	3	0.75	10	2.5	4	1
峡南	-	-	-	-	-	-	2	1	2	1	-	-
富士・東部	-	-	-	-	9	1.8	4	0.8	3	0.6	4	0.8
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	3044	0.97	473	0.15	1961	0.62	100	0.03	13670	4.34	1630	0.52
山梨県	2	0.08	4	0.17	9	0.38	-	-	23	0.96	19	0.79
中北	1	0.13	-	-	1	0.13	-	-	8	1	4	0.5
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	8	1.6	3	0.6
峡東	-	-	4	1	1	0.25	-	-	-	-	2	0.5
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	1	0.2	-	-	7	1.4	-	-	7	1.4	10	2
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	10	0.01	383	0.56	5	0.01	23	0.05	390	0.84	28	0.06
山梨県	-	-	2	0.22	-	-	-	-	1	0.1	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.33	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-

(次ページあり)

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	29		28		27		26	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
RSウイルス感染症	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
咽頭結膜熱	増加しています	平年並みです	0.46	11	0.29	7	0.33	8	0.38	9
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	減少しています	流行しています	1.67	40	2.63	63	2.46	59	4.04	97
感染性胃腸炎	減少しています	流行しています	2.79	67	4.54	109	5.38	129	5.92	142
水痘	減少しています	平年並みです	0.58	14	0.96	23	0.79	19	1.17	28
手足口病	やや減少しています	平年並みです	0.08	2	0.21	5	0.21	5	0.04	1
伝染性紅斑	やや増加しています	平年並みです	0.17	4	0.04	1	0.04	1	0.04	1
突発性発疹	やや増加しています	平年並みです	0.38	9	0.25	6	0.33	8	0.5	12
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	増加しています	平年並みです	0.96	23	0.17	4	0.13	3	0.17	4
流行性耳下腺炎	横ばいです	流行しています	0.79	19	0.71	17	0.71	17	0.83	20
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.22	2	0.56	5	0.22	2	0.33	3
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	減少しています	平年並みです	0.1	1	0.8	8	0.9	9	0.4	4
クラミジア肺炎	—	—	—	—	0.2	2	—	—	—	—

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	中北	男	18
五類感染症	風しん	富士・東部	女	25

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年30週(07月23日～07月29日)

○ 山梨県内流行情報

中北保健所峡北支所管内でヘルパンギーナが増加しています。全国的にも流行していますので、外出時のうがい・手洗いを励行しましょう！

このところ、県内でも成人の風しんが報告されるようになりました。東京・神奈川では風しんが多く報告されていますので、特に妊娠中の方は注意が必要です。

また、8月は麻しん予防接種強化月間です。まだ接種を受けていない対象者の方は、この機会をご利用ください。

○ 富士・東部管内流行情報

先週に引き続き、咽頭結膜熱の報告数は県内で最も多く、全国定点当たり報告数を上回っており、注意が必要です。

また、管内でも、小児の夏かぜの代表的疾患である手足口病・ヘルパンギーナが多く報告されています。こまめな手洗い・うがいを心がけ、かぜ症状が現れたら、早めに医療機関を受診しましょう。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	1268	0.26	610	0.19	1539	0.49	3628	1.16	10678	3.4	2359	0.75
山梨県	-	-	2	0.08	13	0.54	27	1.13	73	3.04	13	0.54
中北	-	-	-	-	3	0.38	6	0.75	39	4.88	1	0.13
中北峡北	-	-	2	0.4	2	0.4	12	2.4	13	2.6	3	0.6
峡東	-	-	-	-	-	-	8	2	9	2.25	1	0.25
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	8	1.6	1	0.2	12	2.4	8	1.6
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	3686	1.17	469	0.15	2180	0.69	109	0.03	13681	4.36	1626	0.52
山梨県	11	0.46	8	0.33	12	0.5	1	0.04	36	1.5	12	0.5
中北	-	-	4	0.5	1	0.13	1	0.13	15	1.88	3	0.38
中北峡北	2	0.4	2	0.4	4	0.8	-	-	11	2.2	5	1
峡東	-	-	2	0.5	-	-	-	-	2	0.5	-	-
峡南	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	8	1.6	-	-	7	1.4	-	-	8	1.6	4	0.8
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	8	0.01	369	0.54	8	0.02	36	0.08	459	0.98	32	0.07
山梨県	-	-	1	0.11	-	-	-	-	9	0.9	1	0.1
中北	-	-	1	0.33	-	-	-	-	6	2	1	0.33
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.5	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(次ページあり)

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	30		29		28		27	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
RSウイルス感染症	—	—	0.08	2	—	—	—	—	—	—
咽頭結膜熱	やや増加しています	平年並みです	0.54	13	0.46	11	0.29	7	0.33	8
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	減少しています	流行しています	1.13	27	1.67	40	2.63	63	2.46	59
感染性胃腸炎	横ばいです	たいへん流行しています	3.04	73	2.79	67	4.54	109	5.38	129
水痘	横ばいです	平年並みです	0.54	13	0.58	14	0.96	23	0.79	19
手足口病	増加しています	平年並みです	0.46	11	0.08	2	0.21	5	0.21	5
伝染性紅斑	増加しています	平年並みです	0.33	8	0.17	4	0.04	1	0.04	1
突発性発疹	やや増加しています	流行しています	0.5	12	0.38	9	0.25	6	0.33	8
百日咳	—	—	0.04	1	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	増加しています	平年並みです	1.5	36	0.96	23	0.17	4	0.13	3
流行性耳下腺炎	減少しています	平年並みです	0.5	12	0.79	19	0.71	17	0.71	17
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.11	1	0.22	2	0.56	5	0.22	2
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	増加しています	たいへん流行しています	0.9	9	0.1	1	0.8	8	0.9	9
クラミジア肺炎	—	—	0.1	1	—	—	0.2	2	—	—

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	中北	男	68
二類感染症	結核	峡南	女	82

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年31週(07月30日～08月05日)

○ 山梨県内流行情報

今年はじめからこれまでの全国における風しん患者の届出数が、例年同時期の3倍となっています。特に関西と首都圏の患者数が多く、夏休み、お盆休みにより移動が活発になる時期でもあるため、今後各都道府県における患者の増加も懸念されます。風しんは飛沫感染するので、感染症予防の基本である、「手洗い・うがい」を徹底するとともに、妊娠初期の方とその周囲の方は特に注意しましょう。

○ 富士・東部管内流行情報

ヘルパンギーナの定点当たり報告数が30週(1.6)から31週(2.2)と増加しており、注意が必要です。手足口病も先週に引き続き多く報告されております。予防方法としては、感染者との密接な接触を避ける、石けんによるこまめな手洗いやうがいの心がけが有効です。かぜ症状が現れたら、早めに医療機関を受診しましょう。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	1117	0.24	787	0.26	1239	0.41	2729	0.91	9514	3.16	1745	0.58
山梨県	-	-	-	-	9	0.38	41	1.71	53	2.21	9	0.38
中北	-	-	-	-	2	0.25	5	0.63	27	3.38	1	0.13
中北峡北	-	-	-	-	-	-	22	4.4	19	3.8	2	0.4
峡東	-	-	-	-	2	0.5	10	2.5	5	1.25	2	0.5
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	5	1	4	0.8	2	0.4	4	0.8
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	3661	1.22	362	0.12	2000	0.66	79	0.03	10466	3.48	1343	0.45
山梨県	12	0.5	2	0.08	12	0.5	-	-	40	1.67	12	0.5
中北	-	-	2	0.25	3	0.38	-	-	12	1.5	-	-
中北峡北	-	-	-	-	5	1	-	-	10	2	4	0.8
峡東	-	-	-	-	2	0.5	-	-	7	1.75	-	-
峡南	5	2.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	7	1.4	-	-	2	0.4	-	-	11	2.2	8	1.6
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	11	0.02	424	0.65	15	0.03	29	0.06	422	0.93	20	0.04
山梨県	-	-	5	0.56	-	-	-	-	4	0.4	1	0.1
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.67	1	0.33
中北峡北	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	3	1.5	-	-	-	-	-	-	-	-

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	31		30		29		28	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
RSウイルス感染症	—	—	—	—	0.08	2	—	—	—	—
咽頭結膜熱	減少しています	平年並みです	0.38	9	0.54	13	0.46	11	0.29	7
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	増加しています	たいへん流行しています	1.71	41	1.13	27	1.67	40	2.63	63
感染性胃腸炎	やや減少しています	平年並みです	2.21	53	3.04	73	2.79	67	4.54	109
水痘	横ばいです	平年並みです	0.38	9	0.54	13	0.58	14	0.96	23
手足口病	横ばいです	平年並みです	0.5	12	0.46	11	0.08	2	0.21	5
伝染性紅斑	減少しています	平年並みです	0.08	2	0.33	8	0.17	4	0.04	1
突発性発疹	横ばいです	流行しています	0.5	12	0.5	12	0.38	9	0.25	6
百日咳	—	—	—	—	0.04	1	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	やや増加しています	平年並みです	1.67	40	1.5	36	0.96	23	0.17	4
流行性耳下腺炎	横ばいです	平年並みです	0.5	12	0.5	12	0.79	19	0.71	17
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	横ばいです	流行しています	0.56	5	0.11	1	0.22	2	0.56	5
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	減少しています	たいへん流行しています	0.4	4	0.9	9	0.1	1	0.8	8
クラミジア肺炎	横ばいです	流行しています	0.1	1	0.1	1	—	—	0.2	2

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	峡東	女	60
二類感染症	結核	富士・東部	女	37
五類感染症	風しん	中北	男	32
五類感染症	風しん	中北	女	22

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年32週(08月06日～08月12日)

○ 山梨県内流行情報

今週は、峡北支所管内で流行していたA群溶血性レンサ球菌咽頭炎が峡東保健所管内でも流行していますので注意が必要です。

また、全国では風しんの報告が統計を取り始めてから初めて千件を超えました。東京・大阪などの大都市圏で患者が多く報告されているので、夏休み等で県外へ出かけるときは注意してください。

○ 富士・東部管内流行情報

ヘルパンギーナの定点当たり報告数が31週(2.2)から32週(3.4)と増加しています。報告数は県内で最も多く、定点当たり報告数も全国を上回っており、注意が必要です。手足口病も引き続き多く報告されています。

予防方法としては、感染者との濃厚接触を避けることが最も重要であり、外出後のうがい、石けんによるこまめな手洗いなどの一般的な予防策の励行を心がけ、かぜ症状が現れたら、早めに医療機関を受診しましょう。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	969	0.29	772	0.35	853	0.38	1706	0.77	6793	3.05	1212	0.54
山梨県	-	-	-	-	7	0.29	42	1.75	81	3.38	15	0.63
中北	-	-	-	-	2	0.25	8	1	42	5.25	5	0.63
中北峡北	-	-	-	-	2	0.4	14	2.8	19	3.8	2	0.4
峡東	-	-	-	-	-	-	18	4.5	13	3.25	3	0.75
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	3	0.6	2	0.4	7	1.4	5	1
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	2030	0.91	200	0.09	1363	0.61	69	0.03	5224	2.35	941	0.42
山梨県	7	0.29	1	0.04	10	0.42	-	-	42	1.75	8	0.33
中北	-	-	-	-	3	0.38	-	-	17	2.13	2	0.25
中北峡北	-	-	-	-	1	0.2	-	-	8	1.6	1	0.2
峡東	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-	2	0.5
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	7	1.4	-	-	6	1.2	-	-	17	3.4	3	0.6
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	6	0.01	273	0.58	6	0.02	26	0.08	321	0.96	10	0.03
山梨県	-	-	3	0.33	-	-	-	-	10	1	-	-
中北	-	-	3	1	-	-	-	-	7	2.33	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1.5	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(次ページあり)

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	32		31		30		29	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
RSウイルス感染症	—	—	—	—	—	—	0.08	2	—	—
咽頭結膜熱	やや減少しています	平年並みです	0.29	7	0.38	9	0.54	13	0.46	11
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	横ばいです	たいへん流行しています	1.75	42	1.71	41	1.13	27	1.67	40
感染性胃腸炎	やや増加しています	たいへん流行しています	3.38	81	2.21	53	3.04	73	2.79	67
水痘	やや増加しています	たいへん流行しています	0.63	15	0.38	9	0.54	13	0.58	14
手足口病	やや減少しています	平年並みです	0.29	7	0.5	12	0.46	11	0.08	2
伝染性紅斑	横ばいです	平年より少ない発生数です	0.04	1	0.08	2	0.33	8	0.17	4
突発性発疹	やや減少しています	平年並みです	0.42	10	0.5	12	0.5	12	0.38	9
百日咳	—	—	—	—	—	—	0.04	1	—	—
ヘルパンギーナ	横ばいです	平年並みです	1.75	42	1.67	40	1.5	36	0.96	23
流行性耳下腺炎	やや減少しています	平年並みです	0.33	8	0.5	12	0.5	12	0.79	19
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.33	3	0.56	5	0.11	1	0.22	2
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	増加しています	たいへん流行しています	1	10	0.4	4	0.9	9	0.1	1
クラミジア肺炎	—	—	—	—	0.1	1	0.1	1	—	—

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	峡東	女	55
四類感染症	レジオネラ症	中北	男	87
五類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	富士・東部	女	84

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年33週(08月13日～08月19日)

○ 山梨県内流行情報

今週は、感染症の大きな動きはありませんでしたが、全国では風しんが引き続き多く報告されており、県内でも報告が増えております。予防接種を受けていない方や、妊娠適齢期の方は特に注意が必要です。

外出後の手洗い、うがいを励行し、急な全身性の発疹や発熱などの症状が現れたら、早めに医療機関を受診しましょう！

○ 富士・東部管内流行情報

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は32週(3.4)から33週(1.4)と減少しましたが、報告数は県内で最も多く、引き続き注意が必要です。外出後のうがい、石けんによるこまめな手洗いを心がけ、かぜ症状が現れたら、早めに医療機関を受診しましょう。

また食中毒も発生しやすい季節ですので、体調管理に併せて食品の管理にも気を配りましょう。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	1154	0.25	977	0.33	880	0.3	1676	0.57	6603	2.23	1340	0.45
山梨県	-	-	-	-	3	0.13	14	0.58	43	1.79	7	0.29
中北	-	-	-	-	1	0.13	2	0.25	19	2.38	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-	4	0.8	5	1	3	0.6
峡東	-	-	-	-	-	-	5	1.25	3	0.75	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.5	1	0.5
富士・東部	-	-	-	-	2	0.4	3	0.6	15	3	3	0.6
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	1933	0.65	186	0.06	1362	0.46	80	0.03	3546	1.2	1065	0.36
山梨県	1	0.04	-	-	6	0.25	-	-	19	0.79	6	0.25
中北	-	-	-	-	1	0.13	-	-	6	0.75	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.4	2	0.4
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	1	0.2	-	-	5	1	-	-	7	1.4	4	0.8
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	5	0.01	388	0.59	9	0.02	22	0.05	529	1.16	31	0.07
山梨県	-	-	1	0.11	-	-	-	-	8	0.8	2	0.2
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1.33	2	0.67
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	1	0.5	-	-	-	-	4	2	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	33		32		31		30	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
RSウイルス感染症	—	—	—	—	—	—	—	—	0.08	2
咽頭結膜熱	減少しています	平年並みです	0.13	3	0.29	7	0.38	9	0.54	13
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	減少しています	平年並みです	0.58	14	1.75	42	1.71	41	1.13	27
感染性胃腸炎	減少しています	平年並みです	1.79	43	3.38	81	2.21	53	3.04	73
水痘	減少しています	平年並みです	0.29	7	0.63	15	0.38	9	0.54	13
手足口病	減少しています	平年並みです	0.04	1	0.29	7	0.5	12	0.46	11
伝染性紅斑	—	—	—	—	0.04	1	0.08	2	0.33	8
突発性発疹	減少しています	平年並みです	0.25	6	0.42	10	0.5	12	0.5	12
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	0.04	1
ヘルパンギーナ	減少しています	平年並みです	0.79	19	1.75	42	1.67	40	1.5	36
流行性耳下腺炎	横ばいです	平年並みです	0.25	6	0.33	8	0.5	12	0.5	12
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.11	1	0.33	3	0.56	5	0.11	1
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	減少しています	たいへん流行しています	0.8	8	1	10	0.4	4	0.9	9
クラミジア肺炎	—	—	0.2	2	—	—	0.1	1	0.1	1

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	峡東	女	23
二類感染症	結核	峡南	男	86
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	中北	女	39
五類感染症	風しん	中北	女	4

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年34週(08月20日～08月26日)

○ 山梨県内流行情報

今週は、感染症の大きな動向はありませんでしたが、今年はマイコプラズマ肺炎の報告が増えており、県内でも例年より多く報告されています。

県外では、特に北関東や長野県・愛知県で多く報告されているので、外出した後には手洗い・うがいを励行し、体調管理に注意しましょう！

○ 富士・東部管内流行情報

ヘルパンギーナの報告数は県内で最も多く、定点当たり報告数も依然全国を上回る状況が続いております。外出後のうがい、石けんによるこまめな手洗いを心がけ、かぜ症状が現れたら、早めに医療機関を受診しましょう。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	1090	0.22	1164	0.37	1035	0.33	2146	0.69	9161	2.94	1654	0.53
山梨県	-	-	-	-	6	0.25	15	0.63	66	2.75	7	0.29
中北	-	-	-	-	1	0.13	3	0.38	37	4.63	-	-
中北峡北	-	-	-	-	1	0.2	8	1.6	15	3	2	0.4
峡東	-	-	-	-	2	0.5	4	1	6	1.5	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	2	0.4	-	-	8	1.6	5	1
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	2041	0.66	267	0.09	2117	0.68	91	0.03	3754	1.2	1200	0.39
山梨県	9	0.38	-	-	12	0.5	-	-	20	0.83	4	0.17
中北	-	-	-	-	2	0.25	-	-	4	0.5	-	-
中北峡北	7	1.4	-	-	4	0.8	-	-	3	0.6	2	0.4
峡東	-	-	-	-	1	0.25	-	-	2	0.5	-	-
峡南	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	1	0.2	-	-	5	1	-	-	11	2.2	2	0.4
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	8	0.01	448	0.66	11	0.02	28	0.06	458	0.98	18	0.04
山梨県	-	-	2	0.22	-	-	-	-	9	0.9	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1.33	-	-
中北峡北	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	5	2.5	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	34		33		32		31	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
RSウイルス感染症	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
咽頭結膜熱	やや増加しています	平年並みです	0.25	6	0.13	3	0.29	7	0.38	9
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	横ばいです	平年並みです	0.63	15	0.58	14	1.75	42	1.71	41
感染性胃腸炎	やや増加しています	たいへん流行しています	2.75	66	1.79	43	3.38	81	2.21	53
水痘	横ばいです	平年並みです	0.29	7	0.29	7	0.63	15	0.38	9
手足口病	増加しています	平年並みです	0.38	9	0.04	1	0.29	7	0.5	12
伝染性紅斑	—	—	—	—	—	—	0.04	1	0.08	2
突発性発疹	増加しています	平年並みです	0.5	12	0.25	6	0.42	10	0.5	12
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	横ばいです	平年並みです	0.83	20	0.79	19	1.75	42	1.67	40
流行性耳下腺炎	横ばいです	平年並みです	0.17	4	0.25	6	0.33	8	0.5	12
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.22	2	0.11	1	0.33	3	0.56	5
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	やや増加しています	たいへん流行しています	0.9	9	0.8	8	1	10	0.4	4
クラミジア肺炎	—	—	—	—	0.2	2	—	—	0.1	1

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	富士・東部	男	39
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	中北	女	56
四類感染症	レジオネラ症	中北	男	48
五類感染症	風しん	中北	男	40

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年35週(08月27日～09月02日)

○ 山梨県内流行情報

今週はマイコプラズマ肺炎の報告が再び定点当たり1.0を超え、特に中北保健所管内で多く報告がありました。

全国的に1.0を超えており、栃木、群馬、埼玉県などでは、特に多く報告されていますので、外出した際には、手洗い・うがいを励行し、体調管理に注意しましょう。

○ 富士・東部管内流行情報

管内で流行している感染症はありませんが、季節の変わり目で体調を崩しがちになるため、外出後のうがい、石けんによるこまめな手洗いを日ごろから励行し、体調管理に注意しましょう。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	1224	0.25	1989	0.64	912	0.29	2289	0.74	9614	3.1	1174	0.38
山梨県	-	-	-	-	3	0.13	17	0.71	57	2.38	7	0.29
中北	-	-	-	-	1	0.13	2	0.25	32	4	2	0.25
中北峡北	-	-	-	-	1	0.2	4	0.8	13	2.6	4	0.8
峡東	-	-	-	-	1	0.25	11	2.75	3	0.75	1	0.25
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.5	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	8	1.6	-	-
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	2522	0.81	241	0.08	2330	0.75	86	0.03	3517	1.13	1172	0.38
山梨県	14	0.58	-	-	9	0.38	1	0.04	16	0.67	4	0.17
中北	2	0.25	-	-	1	0.13	-	-	9	1.13	-	-
中北峡北	7	1.4	-	-	4	0.8	-	-	1	0.2	-	-
峡東	1	0.25	-	-	-	-	-	-	1	0.25	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	4	0.8	-	-	4	0.8	1	0.2	5	1	4	0.8
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	10	0.01	464	0.68	13	0.03	23	0.05	508	1.11	12	0.03
山梨県	-	-	5	0.56	-	-	-	-	11	1.1	-	-
中北	-	-	1	0.33	-	-	-	-	7	2.33	-	-
中北峡北	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	1	0.5	-	-	-	-	4	2	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	35		34		33		32	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
RSウイルス感染症	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
咽頭結膜熱	やや減少しています	平年並みです	0.13	3	0.25	6	0.13	3	0.29	7
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	横ばいです	平年並みです	0.71	17	0.63	15	0.58	14	1.75	42
感染性胃腸炎	横ばいです	流行しています	2.38	57	2.75	66	1.79	43	3.38	81
水痘	横ばいです	平年並みです	0.29	7	0.29	7	0.29	7	0.63	15
手足口病	やや増加しています	平年並みです	0.58	14	0.38	9	0.04	1	0.29	7
伝染性紅斑	—	—	—	—	—	—	—	—	0.04	1
突発性発疹	やや減少しています	平年並みです	0.38	9	0.5	12	0.25	6	0.42	10
百日咳	—	—	0.04	1	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	やや減少しています	平年より少ない発生数です	0.67	16	0.83	20	0.79	19	1.75	42
流行性耳下腺炎	横ばいです	平年並みです	0.17	4	0.17	4	0.25	6	0.33	8
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	横ばいです	流行しています	0.56	5	0.22	2	0.11	1	0.33	3
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	増加しています	たいへん流行しています	1.1	11	0.9	9	0.8	8	1	10
クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	0.2	2	—	—

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
五類感染症	急性脳炎	中北	女	37
五類感染症	風しん	中北	男	40

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年36週(09月03日～09月09日)

○ 山梨県内流行情報

今週は県内における感染症の大きな動向はありませんが、マイコプラズマ肺炎が定点医療機関あたり1.0人と例年より多く報告されているので注意が必要です。

また、これからの季節は感染性胃腸炎の報告が増えてきますので、外出後の手洗い・うがいの励行を心がけましょう。

○ 富士・東部管内流行情報

管内で流行している感染症はありませんが、気温の変化が大きくなる時期なので、十分な休養と栄養をとり、外出後のうがい、石けんによるこまめな手洗いを日ごろから励行し、体調管理に気をつけましょう。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	979	0.2	2785	0.89	1063	0.34	2545	0.81	9900	3.15	1555	0.5
山梨県	-	-	-	-	1	0.04	24	1	53	2.21	6	0.25
中北	-	-	-	-	1	0.13	7	0.88	26	3.25	1	0.13
中北峡北	-	-	-	-	-	-	9	1.8	12	2.4	2	0.4
峡東	-	-	-	-	-	-	8	2	7	1.75	1	0.25
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	8	1.6	2	0.4
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	2784	0.89	209	0.07	2202	0.7	135	0.04	3146	1	1069	0.34
山梨県	15	0.63	-	-	11	0.46	1	0.04	14	0.58	4	0.17
中北	7	0.88	-	-	3	0.38	-	-	4	0.5	-	-
中北峡北	4	0.8	-	-	1	0.2	-	-	2	0.4	-	-
峡東	1	0.25	-	-	-	-	-	-	1	0.25	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	3	0.6	-	-	7	1.4	1	0.2	7	1.4	4	0.8
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	9	0.01	410	0.6	19	0.04	17	0.04	501	1.08	14	0.03
山梨県	-	-	2	0.22	1	0.1	-	-	10	1	1	0.1
中北	-	-	-	-	1	0.33	-	-	7	2.33	1	0.33
中北峡北	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1.5	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(次ページあり)

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	36		35		34		33	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
RSウイルス感染症	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
咽頭結膜熱	やや減少しています	平年並みです	0.04	1	0.13	3	0.25	6	0.13	3
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	やや増加しています	流行しています	1	24	0.71	17	0.63	15	0.58	14
感染性胃腸炎	横ばいです	平年並みです	2.21	53	2.38	57	2.75	66	1.79	43
水痘	横ばいです	平年並みです	0.25	6	0.29	7	0.29	7	0.29	7
手足口病	横ばいです	平年並みです	0.63	15	0.58	14	0.38	9	0.04	1
伝染性紅斑	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
突発性発疹	やや増加しています	平年並みです	0.46	11	0.38	9	0.5	12	0.25	6
百日咳	横ばいです	平年並みです	0.04	1	0.04	1	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	横ばいです	平年より少ない発生数です	0.58	14	0.67	16	0.83	20	0.79	19
流行性耳下腺炎	横ばいです	平年並みです	0.17	4	0.17	4	0.17	4	0.25	6
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.22	2	0.56	5	0.22	2	0.11	1
細菌性髄膜炎	—	—	0.1	1	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	やや減少しています	たいへん流行しています	1	10	1.1	11	0.9	9	0.8	8
クラミジア肺炎	—	—	0.1	1	—	—	—	—	0.2	2

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年37週(09月10日～09月16日)

○ 山梨県内流行情報

今週は引き続きマイコプラズマ肺炎が多く報告されており、特に中北保健所管内で報告が増えています。全国的にも流行が続いておりますので、解熱後も咳が長引く場合はマイコプラズマ肺炎を疑い、医療機関を受診してください。

また、中北保健所峡北支所管内でA群溶血性レンサ球菌咽頭炎が再び増加しています。外出時の手洗いやうがいを励行し、咳がある場合はマスクの着用など、咳エチケットに御協力をお願いいたします。

○ 富士・東部管内流行情報

管内で流行している感染症はありませんが、日中と朝夕との寒暖の差が大きく、体調を崩しやすくなる時期なので、十分な休養と栄養をとり、外出後のうがい、石けんによるこまめな手洗いを日ごろから励行し、体調管理に気をつけましょう。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	1109	0.23	3758	1.23	1157	0.38	2733	0.89	9812	3.2	1275	0.42
山梨県	-	-	1	0.04	3	0.13	29	1.21	55	2.29	10	0.42
中北	-	-	1	0.13	-	-	11	1.38	33	4.13	1	0.13
中北峡北	-	-	-	-	-	-	17	3.4	17	3.4	5	1
峡東	-	-	-	-	1	0.25	-	-	3	0.75	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.5	-	-
富士・東部	-	-	-	-	2	0.4	1	0.2	1	0.2	4	0.8
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	3012	0.98	224	0.07	2157	0.7	91	0.03	2727	0.89	1227	0.4
山梨県	6	0.25	-	-	10	0.42	-	-	13	0.54	6	0.25
中北	1	0.13	-	-	3	0.38	-	-	7	0.88	-	-
中北峡北	4	0.8	-	-	5	1	-	-	1	0.2	1	0.2
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	1	0.2	-	-	2	0.4	-	-	5	1	5	1
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	3	0	397	0.59	6	0.01	38	0.08	473	1.04	15	0.03
山梨県	-	-	2	0.22	-	-	-	-	11	1.1	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	10	3.33	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.5	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	37		36		35		34	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
RSウイルス感染症	—	—	0.04	1	—	—	—	—	—	—
咽頭結膜熱	やや増加しています	平年並みです	0.13	3	0.04	1	0.13	3	0.25	6
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	横ばいです	たいへん流行しています	1.21	29	1	24	0.71	17	0.63	15
感染性胃腸炎	横ばいです	流行しています	2.29	55	2.21	53	2.38	57	2.75	66
水痘	やや増加しています	流行しています	0.42	10	0.25	6	0.29	7	0.29	7
手足口病	減少しています	平年並みです	0.25	6	0.63	15	0.58	14	0.38	9
伝染性紅斑	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
突発性発疹	横ばいです	平年並みです	0.42	10	0.46	11	0.38	9	0.5	12
百日咳	—	—	—	—	0.04	1	0.04	1	—	—
ヘルパンギーナ	横ばいです	平年並みです	0.54	13	0.58	14	0.67	16	0.83	20
流行性耳下腺炎	横ばいです	平年並みです	0.25	6	0.17	4	0.17	4	0.17	4
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.22	2	0.22	2	0.56	5	0.22	2
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	0.1	1	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	やや増加しています	たいへん流行しています	1.1	11	1	10	1.1	11	0.9	9
クラミジア肺炎	—	—	—	—	0.1	1	—	—	—	—

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	中北	女	0
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	中北	男	1
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	中北	男	1
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	中北	女	2
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	中北	女	3
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	中北	女	30

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年38週(09月17日～09月23日)

○ 山梨県内流行情報

今週は、県内で大きな感染症の動きはありませんが、全国(特に九州・中国地方と大都市圏)で、乳児や幼児の気管支炎や肺炎の原因となるRSウイルス感染症の流行が拡大しています。これからの季節は、介護施設などでもインフルエンザと併せて注意する必要があります。

この病気は小さな子どもでは鼻水症状から始まり、38から39度の発熱と咳が続きます。また、細気管支炎による喘鳴(呼吸性喘鳴)が特徴的です。

大部分の子どもたちは、8から15日で軽快しますが、肺や心臓に基礎疾患のある方や老人では重症化することがあり、注意が必要です。予防方法としては、感染者との接触を避け、手洗いを徹底することです。また、症状がある場合はマスクを着用するなど、咳エチケットに御協力をお願いします。

○ 富士・東部管内流行情報

管内で流行している感染症はありませんが、感染性胃腸炎の報告数が37週(1件)から38週(11件)と増加しています。県内では今シーズン初めてのインフルエンザ報告がありました。今後、感染性胃腸炎やインフルエンザが流行する季節になってきますので、外出後のうがい、石けんによるこまめな手洗いを日ごろから励行し、体調管理に気をつけましょう。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	893	0.18	3562	1.14	793	0.25	2198	0.7	8527	2.72	1329	0.42
山梨県	2	0.05	1	0.04	-	-	15	0.63	53	2.21	4	0.17
中北	-	-	1	0.13	-	-	2	0.25	27	3.38	1	0.13
中北峡北	-	-	-	-	-	-	11	2.2	8	1.6	1	0.2
峡東	-	-	-	-	-	-	1	0.25	6	1.5	1	0.25
峡南	2	0.67	-	-	-	-	-	-	1	0.5	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	1	0.2	11	2.2	1	0.2
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	2784	0.89	157	0.05	1681	0.54	63	0.02	1790	0.57	998	0.32
山梨県	6	0.25	-	-	6	0.25	-	-	9	0.38	5	0.21
中北	1	0.13	-	-	2	0.25	-	-	1	0.13	2	0.25
中北峡北	3	0.6	-	-	-	-	-	-	1	0.2	1	0.2
峡東	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-	2	0.5
峡南	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	1	0.2	-	-	3	0.6	-	-	7	1.4	-	-
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	2	0	347	0.51	10	0.02	28	0.06	487	1.05	16	0.03
山梨県	-	-	3	0.33	-	-	1	0.1	8	0.8	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1.33	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-	1	0.5	2	1	-	-
峡東	-	-	1	0.5	-	-	-	-	2	1	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-

(次ページあり)

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	38		37		36		35	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	—	—	0.05	2	—	—	—	—	—	—
RSウイルス感染症	横ばいです	平年並みです	0.04	1	0.04	1	—	—	—	—
咽頭結膜熱	—	—	—	—	0.13	3	0.04	1	0.13	3
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	減少しています	平年並みです	0.63	15	1.21	29	1	24	0.71	17
感染性胃腸炎	横ばいです	流行しています	2.21	53	2.29	55	2.21	53	2.38	57
水痘	やや減少しています	平年並みです	0.17	4	0.42	10	0.25	6	0.29	7
手足口病	横ばいです	平年並みです	0.25	6	0.25	6	0.63	15	0.58	14
伝染性紅斑	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
突発性発疹	減少しています	平年並みです	0.25	6	0.42	10	0.46	11	0.38	9
百日咳	—	—	—	—	—	—	0.04	1	0.04	1
ヘルパンギーナ	やや減少しています	平年並みです	0.38	9	0.54	13	0.58	14	0.67	16
流行性耳下腺炎	横ばいです	平年並みです	0.21	5	0.25	6	0.17	4	0.17	4
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.33	3	0.22	2	0.22	2	0.56	5
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	0.1	1	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	0.1	1	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	減少しています	たいへん流行しています	0.8	8	1.1	11	1	10	1.1	11
クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	0.1	1	—	—

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	峡東	女	48
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	中北	男	1
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	中北	男	3
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	中北	女	5
三類感染症	細菌性赤痢	富士・東部	男	36
四類感染症	レジオネラ症	富士・東部	男	54
四類感染症	レジオネラ症	富士・東部	男	65

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年39週(09月24日～09月30日)

○ 山梨県内流行情報

38～39週にかけて、県内の中北・峡東・峡南の3つの保健所管内でインフルエンザの報告がありました。全国的には沖縄、鹿児島ですでに流行しており、例年よりも早い流行が懸念されます。急な発熱、咳や喉の痛みなどの症状がある場合はインフルエンザを疑って、早めに医療機関を受診しましょう！
また、咳などの症状のある方は、まわりの方への感染を防ぐため、マスクの着用など、咳エチケットに御協力をお願いします。

○ 富士・東部管内流行情報

定点医療機関からの報告はありませんが、県内ではマイコプラズマ肺炎がたいへん流行しており、管内でも散発事例の連絡がありました。外出後のうがい、石けんによるこまめな手洗いを日ごろから励行し、咳、発熱などのかぜ症状が現れたら、早めに医療機関を受診しましょう。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	689	0.15	4485	1.48	765	0.25	2766	0.91	9275	3.06	1348	0.45
山梨県	2	0.05	2	0.08	1	0.04	25	1.04	64	2.67	17	0.71
中北	1	0.08	1	0.13	1	0.13	6	0.75	34	4.25	5	0.63
中北峡北	-	-	-	-	-	-	13	2.6	20	4	7	1.4
峡東	1	0.14	-	-	-	-	4	1	4	1	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-
富士・東部	-	-	1	0.2	-	-	2	0.4	4	0.8	5	1
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	3001	0.99	155	0.05	1971	0.65	72	0.02	1565	0.52	1172	0.39
山梨県	13	0.54	1	0.04	11	0.46	-	-	5	0.21	2	0.08
中北	2	0.25	-	-	1	0.13	-	-	2	0.25	1	0.13
中北峡北	4	0.8	-	-	6	1.2	-	-	-	-	-	-
峡東	1	0.25	1	0.25	-	-	-	-	-	-	1	0.25
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	6	1.2	-	-	4	0.8	-	-	3	0.6	-	-
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	6	0.01	404	0.62	5	0.01	24	0.05	541	1.19	16	0.04
山梨県	-	-	4	0.44	-	-	-	-	10	1	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1.67	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	2	1	-	-	-	-	5	2.5	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	39		38		37		36	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	横ばいです	平年並みです	0.05	2	0.05	2	-	-	-	-
RSウイルス感染症	やや増加しています	流行しています	0.08	2	0.04	1	0.04	1	-	-
咽頭結膜熱	-	-	0.04	1	-	-	0.13	3	0.04	1
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	やや増加しています	たいへん流行しています	1.04	25	0.63	15	1.21	29	1	24
感染性胃腸炎	横ばいです	たいへん流行しています	2.67	64	2.21	53	2.29	55	2.21	53
水痘	増加しています	たいへん流行しています	0.71	17	0.17	4	0.42	10	0.25	6
手足口病	増加しています	平年並みです	0.54	13	0.25	6	0.25	6	0.63	15
伝染性紅斑	-	-	0.04	1	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	増加しています	流行しています	0.46	11	0.25	6	0.42	10	0.46	11
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	0.04	1
ヘルパンギーナ	やや減少しています	平年並みです	0.21	5	0.38	9	0.54	13	0.58	14
流行性耳下腺炎	やや減少しています	平年並みです	0.08	2	0.21	5	0.25	6	0.17	4
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.44	4	0.33	3	0.22	2	0.22	2
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1	1
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	0.1	1	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	増加しています	たいへん流行しています	1	10	0.8	8	1.1	11	1	10
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1	1

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
四類感染症	レジオネラ症	富士・東部	男	54
五類感染症	ウイルス性肝炎	中北	男	50

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年40週(10月01日～10月07日)

○ 山梨県内流行情報

今週は県内でA群溶血性レンサ球菌咽頭炎が再度増加しております。全国的にはRSウイルス感染症やマイコプラズマ肺炎が流行しております。

これらの感染症の予防は、咳をしている人との接触を避け、手洗いの励行及び体調管理です。また、咳など症状がある人はマスクの着用など、咳エチケットに御協力をお願いします。

○ 富士・東部管内流行情報

水痘(水ぼうそう)の報告がやや増加し、定点当たり報告数も全国を上回っており、今後注意が必要です。予防方法としては、感染者との密接な接触を避けることが重要で、石けんによるこまめな手洗いやうがいのがけ、水痘ワクチンの接種(任意接種)も有効です。発疹、発熱等症状が現れたら、早めに医療機関を受診しましょう。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	442	0.09	4897	1.61	631	0.21	3100	1.02	9694	3.18	1400	0.46
山梨県	1	0.03	6	0.25	2	0.08	34	1.42	55	2.29	9	0.38
中北	-	-	4	0.5	-	-	11	1.38	28	3.5	-	-
中北峡北	1	0.13	-	-	-	-	13	2.6	12	2.4	2	0.4
峡東	-	-	-	-	-	-	8	2	9	2.25	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.5	-	-
富士・東部	-	-	2	0.4	2	0.4	2	0.4	5	1	7	1.4
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	2592	0.85	155	0.05	1824	0.6	62	0.02	1141	0.37	1166	0.38
山梨県	5	0.21	-	-	8	0.33	-	-	3	0.13	2	0.08
中北	2	0.25	-	-	1	0.13	-	-	1	0.13	-	-
中北峡北	-	-	-	-	3	0.6	-	-	1	0.2	-	-
峡東	1	0.25	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	2	0.4	-	-	3	0.6	-	-	1	0.2	2	0.4
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	3	0	405	0.61	6	0.01	38	0.08	576	1.27	16	0.04
山梨県	-	-	2	0.22	-	-	-	-	4	0.4	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.67	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-

(次ページあり)

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	40		39		38		37	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	横ばいです	平年並みです	0.03	1	0.05	2	0.05	2	-	-
RSウイルス感染症	増加しています	たいへん流行しています	0.25	6	0.08	2	0.04	1	0.04	1
咽頭結膜熱	横ばいです	平年並みです	0.08	2	0.04	1	-	-	0.13	3
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	やや増加しています	たいへん流行しています	1.42	34	1.04	25	0.63	15	1.21	29
感染性胃腸炎	横ばいです	流行しています	2.29	55	2.67	64	2.21	53	2.29	55
水痘	やや減少しています	流行しています	0.38	9	0.71	17	0.17	4	0.42	10
手足口病	減少しています	平年並みです	0.21	5	0.54	13	0.25	6	0.25	6
伝染性紅斑	-	-	-	-	0.04	1	-	-	-	-
突発性発疹	やや減少しています	平年並みです	0.33	8	0.46	11	0.25	6	0.42	10
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	横ばいです	平年並みです	0.13	3	0.21	5	0.38	9	0.54	13
流行性耳下腺炎	横ばいです	平年並みです	0.08	2	0.08	2	0.21	5	0.25	6
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.22	2	0.44	4	0.33	3	0.22	2
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	0.1	1	-	-
マイコプラズマ肺炎	減少しています	流行しています	0.4	4	1	10	0.8	8	1.1	11
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	富士・東部	女	4
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	富士・東部	女	58

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年41週(10月08日～10月14日)

○ 山梨県内流行情報

今週県内で感染症の大きな動きはありませんが、先週に引き続きA群溶血性レンサ球菌咽頭炎が中北保健所峡北支所と峡東保健所管内で多く報告されており、注意が必要です。

また、これからの季節は感染性胃腸炎が増加し、流行が始まる時期ですので、食品の十分な加熱処理(中心温度85度・1分以上)、手洗いを励行し、感染性胃腸炎の流行を予防しましょう。

○ 富士・東部管内流行情報

水痘(水ぼうそう)の定点当たり報告数が40週(1.4)から41週(2.2)と増加しています。報告数は県内で最も多く、定点当たり報告数も全国を上回っており、注意が必要です。予防方法としては、感染者との密接な接触を避けることが重要で、石けんによるこまめな手洗いやうがいの心がけ、水痘ワクチンの接種(任意接種)も有効です。発疹、発熱等症状が現れたら、早めに医療機関を受診しましょう。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	292	0.06	3647	1.16	464	0.15	2736	0.87	9349	2.97	1675	0.53
山梨県	-	-	2	0.08	1	0.04	28	1.17	55	2.29	17	0.71
中北	-	-	1	0.13	-	-	5	0.63	28	3.5	3	0.38
中北峡北	-	-	1	0.2	-	-	16	3.2	11	2.2	3	0.6
峡東	-	-	-	-	-	-	7	1.75	10	2.5	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-
富士・東部	-	-	-	-	1	0.2	-	-	4	0.8	11	2.2
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	2182	0.69	133	0.04	1701	0.54	57	0.02	707	0.22	1032	0.33
山梨県	7	0.29	1	0.04	9	0.38	2	0.08	2	0.08	4	0.17
中北	1	0.13	-	-	1	0.13	-	-	-	-	2	0.25
中北峡北	2	0.4	-	-	4	0.8	2	0.4	1	0.2	1	0.2
峡東	2	0.5	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	2	0.4	1	0.2	3	0.6	-	-	1	0.2	1	0.2
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	4	0.01	367	0.54	8	0.02	10	0.02	506	1.08	22	0.05
山梨県	-	-	6	0.67	-	-	-	-	4	0.4	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.67	-	-
中北峡北	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	3	1.5	-	-	-	-	2	1	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	41		40		39		38	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	—	—	—	—	0.03	1	0.05	2	0.05	2
RSウイルス感染症	減少しています	たいへん流行しています	0.08	2	0.25	6	0.08	2	0.04	1
咽頭結膜熱	横ばいです	平年並みです	0.04	1	0.08	2	0.04	1	—	—
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	やや減少しています	たいへん流行しています	1.17	28	1.42	34	1.04	25	0.63	15
感染性胃腸炎	横ばいです	平年並みです	2.29	55	2.29	55	2.67	64	2.21	53
水痘	やや増加しています	たいへん流行しています	0.71	17	0.38	9	0.71	17	0.17	4
手足口病	横ばいです	平年並みです	0.29	7	0.21	5	0.54	13	0.25	6
伝染性紅斑	—	—	0.04	1	—	—	0.04	1	—	—
突発性発疹	横ばいです	平年並みです	0.38	9	0.33	8	0.46	11	0.25	6
百日咳	—	—	0.08	2	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	横ばいです	平年並みです	0.08	2	0.13	3	0.21	5	0.38	9
流行性耳下腺炎	横ばいです	平年並みです	0.17	4	0.08	2	0.08	2	0.21	5
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	横ばいです	たいへん流行しています	0.67	6	0.22	2	0.44	4	0.33	3
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	0.1	1
マイコプラズマ肺炎	横ばいです	流行しています	0.4	4	0.4	4	1	10	0.8	8
クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	中北	男	38
二類感染症	結核	中北	女	87
二類感染症	結核	中北	女	83
四類感染症	マラリア	峡東	男	36
五類感染症	風しん	中北	女	18

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年42週(10月15日～10月21日)

○ 山梨県内流行情報

今週はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎が、中北保健所峡北支所と峡東保健所管内で増加しています。気候も一気に秋らしくなり、朝晩冷え込むようになりましたので、体調管理には十分注意しましょう。

○ 富士・東部管内流行情報

水痘(水ぼうそう)の定点当たり報告数が41週(2.2)から42週(1.8)と減少しましたが、報告数は県内で最も多く、依然定点当たり報告数も全国を上回っており、引き続き注意が必要です。予防方法としては、感染者との密接な接触を避けることが重要で、石けんによるこまめな手洗いやうがいの心がけ、水痘ワクチンの接種(任意接種)も有効です。発疹、発熱等症状が現れたら、早めに医療機関を受診しましょう。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	253	0.05	3757	1.19	551	0.18	3550	1.13	11755	3.74	1577	0.5
山梨県	1	0.03	6	0.25	1	0.04	44	1.83	61	2.54	12	0.5
中北	-	-	2	0.25	-	-	12	1.5	33	4.13	1	0.13
中北峡北	1	0.13	3	0.6	-	-	19	3.8	12	2.4	2	0.4
峡東	-	-	-	-	-	-	11	2.75	12	3	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	1	0.2	1	0.2	2	0.4	4	0.8	9	1.8
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	1998	0.64	117	0.04	1844	0.59	66	0.02	458	0.15	1259	0.4
山梨県	9	0.38	-	-	11	0.46	-	-	1	0.04	5	0.21
中北	-	-	-	-	3	0.38	-	-	1	0.13	4	0.5
中北峡北	5	1	-	-	3	0.6	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	4	0.8	-	-	4	0.8	-	-	-	-	1	0.2
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	11	0.02	356	0.52	3	0.01	13	0.03	600	1.28	14	0.03
山梨県	-	-	5	0.56	-	-	-	-	6	0.6	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1.33	-	-
中北峡北	-	-	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-

(次ページあり)

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	42		41		40		39	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	—	—	0.03	1	—	—	0.03	1	0.05	2
RSウイルス感染症	増加しています	たいへん流行しています	0.25	6	0.08	2	0.25	6	0.08	2
咽頭結膜熱	横ばいです	平年並みです	0.04	1	0.04	1	0.08	2	0.04	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	増加しています	たいへん流行しています	1.83	44	1.17	28	1.42	34	1.04	25
感染性胃腸炎	横ばいです	平年並みです	2.54	61	2.29	55	2.29	55	2.67	64
水痘	やや減少しています	平年並みです	0.5	12	0.71	17	0.38	9	0.71	17
手足口病	横ばいです	平年並みです	0.38	9	0.29	7	0.21	5	0.54	13
伝染性紅斑	—	—	—	—	0.04	1	—	—	0.04	1
突発性発疹	やや増加しています	流行しています	0.46	11	0.38	9	0.33	8	0.46	11
百日咳	—	—	—	—	0.08	2	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	横ばいです	平年より少ない発生数です	0.04	1	0.08	2	0.13	3	0.21	5
流行性耳下腺炎	横ばいです	平年並みです	0.21	5	0.17	4	0.08	2	0.08	2
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	横ばいです	流行しています	0.56	5	0.67	6	0.22	2	0.44	4
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	増加しています	流行しています	0.6	6	0.4	4	0.4	4	1	10
クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	中北	女	51
二類感染症	結核	中北	女	73
二類感染症	結核	峡東	女	63
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	中北	男	19
五類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	中北	男	52

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年43週(10月22日～10月28日)

○ 山梨県内流行情報

今週は、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が中北保健所峡北支所、峡東保健所管内で多く報告がありました。全国的には、マイコプラズマ肺炎とRSウイルス感染症が引き続き流行しています。寒暖の差が激しく、空気が乾燥してきましたので、外出時の手洗いの励行と共に、うがいや部屋の湿度管理に注意しましょう！

○ 富士・東部管内流行情報

水痘(水ぼうそう)の報告は先週に引き続き、県内で最も多く、定点当たり報告数も全国を上回っており、注意が必要です。

また、寒さと共に感染性胃腸炎の報告も増加してきています。流行が始まる時期ですので、日ごろから石けんによるこまめな手洗い、外出後のうがい、食品の十分な加熱処理(中心温度85度・1分以上)を励行し、体調管理に気をつけましょう。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	316	0.06	3541	1.13	625	0.2	3828	1.22	14601	4.64	2280	0.72
山梨県	-	-	6	0.25	2	0.08	33	1.38	53	2.21	14	0.58
中北	-	-	2	0.25	1	0.13	2	0.25	24	3	5	0.63
中北峡北	-	-	1	0.2	-	-	17	3.4	6	1.2	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	13	3.25	11	2.75	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	3	0.6	1	0.2	1	0.2	12	2.4	9	1.8
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	1988	0.63	136	0.04	1904	0.61	82	0.03	408	0.13	1006	0.32
山梨県	7	0.29	-	-	12	0.5	-	-	2	0.08	5	0.21
中北	1	0.13	-	-	2	0.25	-	-	1	0.13	2	0.25
中北峡北	5	1	-	-	5	1	-	-	1	0.2	1	0.2
峡東	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	1	0.2	-	-	4	0.8	-	-	-	-	2	0.4
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	8	0.01	352	0.51	15	0.03	15	0.03	598	1.28	24	0.05
山梨県	-	-	3	0.33	-	-	-	-	5	0.5	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.67	-	-
中北峡北	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	1	0.5	-	-	-	-	3	1.5	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	43		42		41		40	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	—	—	—	—	0.03	1	—	—	0.03	1
RSウイルス感染症	横ばいです	たいへん流行しています	0.25	6	0.25	6	0.08	2	0.25	6
咽頭結膜熱	横ばいです	平年並みです	0.08	2	0.04	1	0.04	1	0.08	2
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	減少しています	たいへん流行しています	1.38	33	1.83	44	1.17	28	1.42	34
感染性胃腸炎	横ばいです	平年並みです	2.21	53	2.54	61	2.29	55	2.29	55
水痘	横ばいです	平年並みです	0.58	14	0.5	12	0.71	17	0.38	9
手足口病	横ばいです	平年並みです	0.29	7	0.38	9	0.29	7	0.21	5
伝染性紅斑	—	—	—	—	—	—	0.04	1	—	—
突発性発疹	横ばいです	平年並みです	0.5	12	0.46	11	0.38	9	0.33	8
百日咳	—	—	—	—	—	—	0.08	2	—	—
ヘルパンギーナ	横ばいです	平年並みです	0.08	2	0.04	1	0.08	2	0.13	3
流行性耳下腺炎	横ばいです	平年並みです	0.21	5	0.21	5	0.17	4	0.08	2
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.33	3	0.56	5	0.67	6	0.22	2
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	やや減少しています	流行しています	0.5	5	0.6	6	0.4	4	0.4	4
クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	中北	男	38
二類感染症	結核	中北	男	80

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年44週(10月29日～11月04日)

○ 山梨県内流行情報

引き続きA群溶血性レンサ球菌咽頭炎マイコプラズマ肺炎が過去5年間で最も高い数字となっております。また、インフルエンザや感染性胃腸炎はまだ流行していませんが、もうすぐ注意が必要な時期となります。手洗いうがいを励行し、体調管理に気をつけて下さい。

○ 富士・東部管内流行情報

水痘(水ぼうそう)の定点当たり報告数が43週(1.8)から44週(3.0)と増加しています。水痘は、感染者の気道分泌物や水疱内容物の飛沫(飛沫核)を吸入することやそれらに接触することより人から人へ感染します。予防方法としては、感染者との密接な接触を避けることが重要で、石けんによるこまめな手洗いやうがいの心がけ、水痘ワクチンの接種(任意接種)も有効です。発疹、発熱等症状が現れたら、早めに医療機関を受診しましょう。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	369	0.07	3092	0.98	609	0.19	3859	1.23	17562	5.58	2487	0.79
山梨県	2	0.05	6	0.25	2	0.08	41	1.71	55	2.29	16	0.67
中北	2	0.15	3	0.38	2	0.25	9	1.13	28	3.5	1	0.13
中北峡北	-	-	2	0.4	-	-	15	3	12	2.4	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	13	3.25	5	1.25	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	1	0.2	-	-	4	0.8	10	2	15	3
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	1718	0.55	120	0.04	1705	0.54	77	0.02	319	0.1	1058	0.34
山梨県	5	0.21	-	-	7	0.29	-	-	1	0.04	6	0.25
中北	-	-	-	-	2	0.25	-	-	-	-	3	0.38
中北峡北	5	1	-	-	3	0.6	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.25
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	2	0.4	-	-	1	0.2	2	0.4
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	3	0	274	0.4	4	0.01	21	0.04	614	1.31	24	0.05
山梨県	-	-	6	0.67	-	-	-	-	6	0.6	1	0.1
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1.67	1	0.33
中北峡北	-	-	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	2	1	-	-	-	-	1	0.5	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	44		43		42		41	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	—	—	0.05	2	—	—	0.03	1	—	—
RSウイルス感染症	横ばいです	たいへん流行しています	0.25	6	0.25	6	0.25	6	0.08	2
咽頭結膜熱	横ばいです	平年並みです	0.08	2	0.08	2	0.04	1	0.04	1
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	やや増加しています	たいへん流行しています	1.71	41	1.38	33	1.83	44	1.17	28
感染性胃腸炎	横ばいです	平年並みです	2.29	55	2.21	53	2.54	61	2.29	55
水痘	横ばいです	平年並みです	0.67	16	0.58	14	0.5	12	0.71	17
手足口病	横ばいです	平年並みです	0.21	5	0.29	7	0.38	9	0.29	7
伝染性紅斑	—	—	—	—	—	—	—	—	0.04	1
突発性発疹	減少しています	平年並みです	0.29	7	0.5	12	0.46	11	0.38	9
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	0.08	2
ヘルパンギーナ	横ばいです	平年並みです	0.04	1	0.08	2	0.04	1	0.08	2
流行性耳下腺炎	横ばいです	平年並みです	0.25	6	0.21	5	0.21	5	0.17	4
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	横ばいです	流行しています	0.67	6	0.33	3	0.56	5	0.67	6
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	やや増加しています	たいへん流行しています	0.6	6	0.5	5	0.6	6	0.4	4
クラミジア肺炎	—	—	0.1	1	—	—	—	—	—	—

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	中北	女	37
二類感染症	結核	中北	女	41
二類感染症	結核	峡東	女	83
二類感染症	結核	峡東	男	96

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年45週(11月05日～11月11日)

○ 山梨県内流行情報

全国では感染性胃腸炎が急激に増加しております。県内ではまだ平年並みですが、厚生労働省から感染性胃腸炎に関する注意喚起もされておりますので、ご家族、職場などで手洗い、うがいを呼びかけましょう。

○ 富士・東部管内流行情報

水痘(水ぼうそう)の定点当たり報告数が44週(3.0)から45週(1.8)と減少しました。
また、これから感染性胃腸炎やインフルエンザが流行し、注意が必要な時期となってきますので、外出後のうがい、石けんによるこまめな手洗いを日ごろから励行し、体調管理に気をつけましょう。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	535	0.11	3511	1.11	858	0.27	5226	1.66	27565	8.75	3448	1.09
山梨県	-	-	5	0.21	5	0.21	40	1.67	66	2.75	20	0.83
中北	-	-	1	0.13	5	0.63	4	0.5	31	3.88	4	0.5
中北峡北	-	-	-	-	-	-	17	3.4	13	2.6	5	1
峡東	-	-	-	-	-	-	12	3	10	2.5	2	0.5
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.5	-	-
富士・東部	-	-	4	0.8	-	-	7	1.4	11	2.2	9	1.8
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	1857	0.59	154	0.05	1905	0.6	70	0.02	266	0.08	1254	0.4
山梨県	17	0.71	-	-	12	0.5	-	-	2	0.08	-	-
中北	2	0.25	-	-	3	0.38	-	-	1	0.13	-	-
中北峡北	13	2.6	-	-	5	1	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	2	0.4	-	-	4	0.8	-	-	1	0.2	-	-
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	5	0.01	390	0.57	15	0.03	14	0.03	589	1.26	17	0.04
山梨県	-	-	2	0.22	-	-	-	-	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(次ページあり)

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	45		44		43		42	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	—	—	—	—	0.05	2	—	—	0.03	1
RSウイルス感染症	やや減少しています	たいへん流行しています	0.21	5	0.25	6	0.25	6	0.25	6
咽頭結膜熱	増加しています	平年並みです	0.21	5	0.08	2	0.08	2	0.04	1
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	横ばいです	たいへん流行しています	1.67	40	1.71	41	1.38	33	1.83	44
感染性胃腸炎	横ばいです	平年並みです	2.75	66	2.29	55	2.21	53	2.54	61
水痘	横ばいです	平年並みです	0.83	20	0.67	16	0.58	14	0.5	12
手足口病	増加しています	たいへん流行しています	0.71	17	0.21	5	0.29	7	0.38	9
伝染性紅斑	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
突発性発疹	増加しています	流行しています	0.5	12	0.29	7	0.5	12	0.46	11
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	横ばいです	平年並みです	0.08	2	0.04	1	0.08	2	0.04	1
流行性耳下腺炎	—	—	—	—	0.25	6	0.21	5	0.21	5
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.22	2	0.67	6	0.33	3	0.56	5
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	0.6	6	0.5	5	0.6	6
クラミジア肺炎	—	—	—	—	0.1	1	—	—	—	—

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
五類感染症	風しん	中北	男	40

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年46週(11月12日～11月18日)

○ 山梨県内流行情報

今週は水痘(水ぼうそう)の報告が多くあり、特に富士・東部保健所管内では定点あたり5.00となり、注意報レベルとなっています。全身性の発疹が現れた場合は水痘を疑い、人との接触を避けて早めに医療機関を受診しましょう！

また、全国で感染性胃腸炎(ノロウイルス・サポウイルス等)の報告が急増し、本県でも流行が始まっています。手洗いの励行や食品の十分な加熱(85度1分)を実行し、感染を予防しましょう。

○ 富士・東部管内流行情報

水痘(水ぼうそう)の定点当たり報告数が5.00と増加し、注意報レベル(4.00以上)となりました。水痘は、感染者の気道分泌物や水疱内容物の飛沫(飛沫核)を吸入することやそれらに接触することより人から人へ感染します。予防方法としては、感染者との密接な接触を避けることが重要で、石けんによるこまめな手洗いやうがいの心がけ、水痘ワクチンの接種(任意接種)も有効です。発疹、発熱等症状が現れたら、早めに医療機関を受診しましょう。

また、管内でも感染性胃腸炎の報告が増加傾向にあり、注意が必要です。日ごろから石けんによるこまめな手洗い、外出後のうがい、食品の十分な加熱処理(中心温度85度・1分以上)を励行し、体調管理に気をつけましょう。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	686	0.14	3386	1.08	955	0.3	5240	1.66	35862	11.39	4045	1.28
山梨県	1	0.03	7	0.29	3	0.13	41	1.71	111	4.63	44	1.83
中北	1	0.08	2	0.25	2	0.25	3	0.38	38	4.75	6	0.75
中北峡北	-	-	-	-	1	0.2	26	5.2	18	3.6	11	2.2
峡東	-	-	-	-	-	-	10	2.5	27	6.75	2	0.5
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	8	4	-	-
富士・東部	-	-	5	1	-	-	2	0.4	20	4	25	5
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	1719	0.55	127	0.04	1849	0.59	85	0.03	237	0.08	1051	0.33
山梨県	12	0.5	-	-	9	0.38	-	-	1	0.04	5	0.21
中北	1	0.13	-	-	-	-	-	-	1	0.13	-	-
中北峡北	9	1.8	-	-	6	1.2	-	-	-	-	-	-
峡東	2	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	3	0.6	-	-	-	-	5	1
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	10	0.01	396	0.58	3	0.01	15	0.03	615	1.32	27	0.06
山梨県	-	-	1	0.11	-	-	-	-	9	0.9	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1.67	-	-
中北峡北	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(次ページあり)

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	46		45		44		43	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	—	—	0.03	1	—	—	0.05	2	—	—
RSウイルス感染症	増加しています	たいへん流行しています	0.29	7	0.21	5	0.25	6	0.25	6
咽頭結膜熱	やや減少しています	平年並みです	0.13	3	0.21	5	0.08	2	0.08	2
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	横ばいです	たいへん流行しています	1.71	41	1.67	40	1.71	41	1.38	33
感染性胃腸炎	増加しています	平年並みです	4.63	111	2.75	66	2.29	55	2.21	53
水痘	増加しています	たいへん流行しています	1.83	44	0.83	20	0.67	16	0.58	14
手足口病	やや減少しています	流行しています	0.5	12	0.71	17	0.21	5	0.29	7
伝染性紅斑	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
突発性発疹	やや減少しています	流行しています	0.38	9	0.5	12	0.29	7	0.5	12
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	横ばいです	平年並みです	0.04	1	0.08	2	0.04	1	0.08	2
流行性耳下腺炎	—	—	0.21	5	—	—	0.25	6	0.21	5
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.11	1	0.22	2	0.67	6	0.33	3
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	—	—	0.9	9	—	—	0.6	6	0.5	5
クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	0.1	1	—	—

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
五類感染症	後天性免疫不全症候群	富士・東部	男	47

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年47週(11月19日～11月25日)

○ 山梨県内流行情報

今週は、先週に引き続き感染性胃腸炎が増加しており、過去5年間で平成22年に次ぐ2番目の水準となっております。厚生労働省からも追加で感染性胃腸炎に関する注意喚起が出されましたので、帰宅時、トイレの後、食事の前などの手洗い習慣を身につけましょう。

○ 富士・東部管内流行情報

水痘(水ぼうそう)の定点当たり報告数が3.20と減少しておりますが、報告数は依然多く今後も注意が必要です。

感染性胃腸炎の報告数が46週(4.00)から47週(10.2)と急増しております。今後は流行が予想され、注意が必要です。日ごろより意識して石けんによるこまめな手洗い、外出後のうがい、食品の十分な加熱処理(中心温度85度・1分以上)を励行し、体調管理に気をつけましょう。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	1091	0.22	3268	1.05	988	0.32	4890	1.57	40415	12.96	4570	1.47
山梨県	-	-	7	0.29	6	0.25	25	1.04	182	7.58	28	1.17
中北	-	-	5	0.63	6	0.75	3	0.38	79	9.88	1	0.13
中北峡北	-	-	-	-	-	-	11	2.2	21	4.2	5	1
峡東	-	-	-	-	-	-	7	1.75	31	7.75	6	1.5
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	2	0.4	-	-	4	0.8	51	10.2	16	3.2
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	1422	0.46	132	0.04	1561	0.5	60	0.02	187	0.06	995	0.32
山梨県	13	0.54	-	-	8	0.33	-	-	-	-	1	0.04
中北	4	0.5	-	-	2	0.25	-	-	-	-	-	-
中北峡北	8	1.6	-	-	4	0.8	-	-	-	-	-	-
峡東	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	2	0.4	-	-	-	-	1	0.2
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	6	0.01	314	0.46	6	0.01	17	0.04	493	1.06	22	0.05
山梨県	-	-	1	0.11	-	-	-	-	2	0.2	1	0.1
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.33
中北峡北	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	47		46		45		44	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	—	—	—	—	0.03	1	—	—	0.05	2
RSウイルス感染症	横ばいです	たいへん流行しています	0.29	7	0.29	7	0.21	5	0.25	6
咽頭結膜熱	やや増加しています	平年並みです	0.25	6	0.13	3	0.21	5	0.08	2
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	減少しています	平年並みです	1.04	25	1.71	41	1.67	40	1.71	41
感染性胃腸炎	増加しています	平年並みです	7.58	182	4.63	111	2.75	66	2.29	55
水痘	減少しています	平年並みです	1.17	28	1.83	44	0.83	20	0.67	16
手足口病	横ばいです	流行しています	0.54	13	0.5	12	0.71	17	0.21	5
伝染性紅斑	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
突発性発疹	横ばいです	平年並みです	0.33	8	0.38	9	0.5	12	0.29	7
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	—	—	—	—	0.04	1	0.08	2	0.04	1
流行性耳下腺炎	やや減少しています	平年並みです	0.04	1	0.21	5	—	—	0.25	6
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.11	1	0.11	1	0.22	2	0.67	6
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	減少しています	平年並みです	0.2	2	0.9	9	—	—	0.6	6
クラミジア肺炎	—	—	0.1	1	—	—	—	—	0.1	1

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	峡東	女	69
二類感染症	結核	峡東	男	73
五類感染症	ウイルス性肝炎	富士・東部	男	24

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年48週(11月26日～12月02日)

○ 山梨県内流行情報

感染性胃腸炎が急激に増加しております。今シーズンは変異したノロウイルスが全国で検出されており、注意が必要です。また、水痘(水ぼうそう)も富士・東部保健所管内では再び注意報レベルとなっております。冬に流行するRSウイルスも増加しておりますので、手洗い、うがいの励行をお願いします。

○ 富士・東部管内流行情報

水痘(水ぼうそう)の定点当たり報告数が4.20と増加し、再び注意報レベル(4.00以上)となりました。発疹、発熱等症状があったら、人との接触を避け、早めに医療機関を受診しましょう。

また、感染性胃腸炎の報告が47週(10.2)から48週(18.0)と急増しており、さらに管内においては、今シーズン初めてのインフルエンザ報告もありました。今後、感染性胃腸炎、インフルエンザは流行が予想されるため、日ごろより意識して石けんによるこまめな手洗い、外出後のうがいを励行し、感染予防に努めましょう。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	1515	0.31	3673	1.18	1142	0.37	5521	1.78	55982	18	5418	1.74
山梨県	11	0.28	9	0.38	3	0.13	40	1.67	324	13.5	43	1.79
中北	6	0.46	6	0.75	3	0.38	6	0.75	107	13.38	7	0.88
中北峡北	2	0.25	-	-	-	-	18	3.6	66	13.2	9	1.8
峡東	2	0.29	-	-	-	-	9	2.25	57	14.25	6	1.5
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2	-	-
富士・東部	1	0.11	3	0.6	-	-	7	1.4	90	18	21	4.2
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	1313	0.42	141	0.05	1709	0.55	60	0.02	175	0.06	1175	0.38
山梨県	7	0.29	-	-	8	0.33	-	-	-	-	5	0.21
中北	-	-	-	-	1	0.13	-	-	-	-	1	0.13
中北峡北	7	1.4	-	-	2	0.4	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	4	0.8	-	-	-	-	4	0.8
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	5	0.01	422	0.62	7	0.02	17	0.04	556	1.2	15	0.03
山梨県	-	-	2	0.22	-	-	-	-	3	0.3	3	0.3
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.67	3	1
中北峡北	-	-	1	0.5	-	-	-	-	1	0.5	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	48		47		46		45	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	—	—	0.28	11	—	—	0.03	1	—	—
RSウイルス感染症	増加しています	平年並みです	0.38	9	0.29	7	0.29	7	0.21	5
咽頭結膜熱	やや減少しています	平年並みです	0.13	3	0.25	6	0.13	3	0.21	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	増加しています	流行しています	1.67	40	1.04	25	1.71	41	1.67	40
感染性胃腸炎	増加しています	流行しています	13.5	324	7.58	182	4.63	111	2.75	66
水痘	増加しています	たいへん流行しています	1.79	43	1.17	28	1.83	44	0.83	20
手足口病	減少しています	平年並みです	0.29	7	0.54	13	0.5	12	0.71	17
伝染性紅斑	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
突発性発疹	横ばいです	平年並みです	0.33	8	0.33	8	0.38	9	0.5	12
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	—	—	—	—	—	—	0.04	1	0.08	2
流行性耳下腺炎	やや増加しています	平年並みです	0.21	5	0.04	1	0.21	5	—	—
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.22	2	0.11	1	0.11	1	0.22	2
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	やや増加しています	平年並みです	0.3	3	0.2	2	0.9	9	—	—
クラミジア肺炎	増加しています	流行しています	0.3	3	0.1	1	—	—	—	—

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	中北	男	83

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年49週(12月03日～12月09日)

○ 山梨県内流行情報

感染性胃腸炎が流行しており、富士・東部保健所管内では警報レベルとなりました。県内全域でも注意が必要です。日常生活におけるこまめな手洗いが予防のポイントです。家族みんなで手洗いの習慣をつけましょう。

○ 富士・東部管内流行情報

感染性胃腸炎の定点当たり報告数が28.20と増加し、警報レベル(20.00以上)となりました。予防には石けんによるこまめな手洗いが有効です。特にトイレの後、調理の前、食事の前等は、日ごろより意識して手洗いを励行し、感染予防に努めましょう。

予防方法等詳しくはこちら <http://www.pref.yamanashi.jp/kenko-zsn/75970716572.html>

水痘(水ぼうそう)の報告数は減少し、注意報は解除となっています。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	2768	0.57	3890	1.26	1324	0.43	6373	2.06	60776	19.61	5506	1.78
山梨県	40	1	14	0.58	2	0.08	38	1.58	433	18.04	20	0.83
中北	15	1.15	10	1.25	2	0.25	7	0.88	148	18.5	4	0.5
中北峡北	22	2.75	-	-	-	-	15	3	73	14.6	5	1
峡東	3	0.43	-	-	-	-	14	3.5	63	15.75	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	8	4	-	-
富士・東部	-	-	4	0.8	-	-	2	0.4	141	28.2	11	2.2
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	1365	0.44	148	0.05	1539	0.5	60	0.02	139	0.04	1088	0.35
山梨県	4	0.17	-	-	10	0.42	-	-	-	-	2	0.08
中北	-	-	-	-	1	0.13	-	-	-	-	-	-
中北峡北	2	0.4	-	-	5	1	-	-	-	-	2	0.4
峡東	1	0.25	-	-	3	0.75	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	1	0.2	-	-	1	0.2	-	-	-	-	-	-
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	10	0.01	428	0.64	8	0.02	10	0.02	487	1.07	26	0.06
山梨県	-	-	1	0.11	-	-	-	-	6	0.6	5	0.5
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	6	2	5	1.67
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	49		48		47		46	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	横ばいです	平年並みです	1	40	0.28	11	-	-	0.03	1
RSウイルス感染症	増加しています	平年並みです	0.58	14	0.38	9	0.29	7	0.29	7
咽頭結膜熱	横ばいです	平年並みです	0.08	2	0.13	3	0.25	6	0.13	3
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	横ばいです	平年並みです	1.58	38	1.67	40	1.04	25	1.71	41
感染性胃腸炎	増加しています	たいへん流行しています	18.04	433	13.5	324	7.58	182	4.63	111
水痘	減少しています	平年並みです	0.83	20	1.79	43	1.17	28	1.83	44
手足口病	やや減少しています	平年並みです	0.17	4	0.29	7	0.54	13	0.5	12
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	やや増加しています	平年並みです	0.42	10	0.33	8	0.33	8	0.38	9
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	0.04	1
流行性耳下腺炎	やや減少しています	平年並みです	0.08	2	0.21	5	0.04	1	0.21	5
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.11	1	0.22	2	0.11	1	0.11	1
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	増加しています	流行しています	0.6	6	0.3	3	0.2	2	0.9	9
クラミジア肺炎	増加しています	たいへん流行しています	0.5	5	0.3	3	0.1	1	-	-

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	中北	女	50

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年50週(12月10日～12月16日)

○ 山梨県内流行情報

感染性胃腸炎が先週の富士・東部地域に引き続き、中北、峡東地域も警報レベルに入りました。今後も警報レベルが続くことが予想されますので、帰宅時、トイレの後、食事の前の手洗いを徹底していただき、吐いたものの処理の際は塩素系漂白剤を使って確実に消毒してください。

○ 富士・東部管内流行情報

感染性胃腸炎の定点当たり報告数が依然として多く、警報レベル(20.00以上)は続いています。管内でも、社会福祉施設での感染性胃腸炎による集団発生が確認されており、注意が必要です。予防には石けんによるこまめな手洗いが有効です。特にトイレの後、調理の前、食事の前等は、意識して手洗いを励行し、感染予防に努めましょう。

予防方法等詳しくはこちら <http://www.pref.yamanashi.jp/kenko-zsn/75970716572.html>

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	5781	1.19	3984	1.28	1419	0.46	6314	2.03	59837	19.23	6578	2.11
山梨県	123	3.08	14	0.58	6	0.25	34	1.42	559	23.29	35	1.46
中北	33	2.54	7	0.88	3	0.38	2	0.25	236	29.5	9	1.13
中北峡北	76	9.5	4	0.8	-	-	14	2.8	80	16	9	1.8
峡東	12	1.71	2	0.5	-	-	14	3.5	104	26	5	1.25
峡南	1	0.33	-	-	-	-	-	-	23	11.5	-	-
富士・東部	1	0.11	1	0.2	3	0.6	4	0.8	116	23.2	12	2.4
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	1326	0.43	171	0.05	1534	0.49	39	0.01	119	0.04	1046	0.34
山梨県	6	0.25	-	-	6	0.25	-	-	-	-	2	0.08
中北	-	-	-	-	1	0.13	-	-	-	-	2	0.25
中北峡北	5	1	-	-	1	0.2	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	2	0.5	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	1	0.2	-	-	2	0.4	-	-	-	-	-	-
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	5	0.01	429	0.63	6	0.01	14	0.03	501	1.08	15	0.03
山梨県	-	-	3	0.33	-	-	-	-	7	0.7	2	0.2
中北	-	-	2	0.67	-	-	-	-	6	2	2	0.67
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	1	0.5	-	-	-	-	1	0.5	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	50		49		48		47	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	やや増加しています	平年並みです	3.08	123	1	40	0.28	11	-	-
RSウイルス感染症	横ばいです	平年並みです	0.58	14	0.58	14	0.38	9	0.29	7
咽頭結膜熱	増加しています	平年並みです	0.25	6	0.08	2	0.13	3	0.25	6
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	横ばいです	平年並みです	1.42	34	1.58	38	1.67	40	1.04	25
感染性胃腸炎	増加しています	たいへん流行しています	23.29	559	18.04	433	13.5	324	7.58	182
水痘	増加しています	平年並みです	1.46	35	0.83	20	1.79	43	1.17	28
手足口病	横ばいです	平年並みです	0.25	6	0.17	4	0.29	7	0.54	13
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	減少しています	平年並みです	0.25	6	0.42	10	0.33	8	0.33	8
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	横ばいです	平年並みです	0.08	2	0.08	2	0.21	5	0.04	1
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.33	3	0.11	1	0.22	2	0.11	1
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	やや増加しています	たいへん流行しています	0.7	7	0.6	6	0.3	3	0.2	2
クラミジア肺炎	減少しています	平年並みです	0.2	2	0.5	5	0.3	3	0.1	1

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	中北	男	88
二類感染症	結核	中北	女	47
二類感染症	結核	中北	女	69
二類感染症	結核	峡東	男	84
二類感染症	結核	峡東	女	42
二類感染症	結核	峡南	男	81

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年51週(12月17日～12月23日)

○ 山梨県内流行情報

感染性胃腸炎は、中北、峡東、富士・東部地域で警報レベルが続いております。また、インフルエンザも増加していますので、年末年始もこまめな手洗いうがいを心がけ、体を休めましょう。

○ 富士・東部管内流行情報

感染性胃腸炎の定点当たり報告数が依然として多く、警報レベル(20.00以上)は続いています。また、管内でもインフルエンザが流行入り(定点当たり報告数1.00以上)したので、石けんによるこまめな手洗い、外出後のうがいを励行し、感染予防に努めましょう。

感染性胃腸炎の予防方法等詳しくはこちら <http://www.pref.yamanashi.jp/kenko-zsn/75970716572.html>

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	10977	2.23	4217	1.34	1492	0.48	6898	2.2	53356	17	6791	2.16
山梨県	180	4.5	11	0.46	7	0.29	46	1.92	500	20.83	14	0.58
中北	76	5.85	6	0.75	2	0.25	7	0.88	175	21.88	3	0.38
中北峡北	57	7.13	1	0.2	1	0.2	22	4.4	77	15.4	2	0.4
峡東	34	4.86	-	-	-	-	6	1.5	80	20	2	0.5
峡南	4	1.33	-	-	-	-	-	-	24	12	-	-
富士・東部	9	1	4	0.8	4	0.8	11	2.2	144	28.8	7	1.4
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	1124	0.36	161	0.05	1482	0.47	62	0.02	159	0.05	1146	0.37
山梨県	4	0.17	1	0.04	6	0.25	-	-	-	-	2	0.08
中北	2	0.25	1	0.13	-	-	-	-	-	-	1	0.13
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	2	0.5	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	2	0.4	-	-	4	0.8	-	-	-	-	1	0.2
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	10	0.01	429	0.63	10	0.02	14	0.03	437	0.94	17	0.04
山梨県	-	-	5	0.56	-	-	-	-	2	0.2	1	0.1
中北	-	-	2	0.67	-	-	-	-	2	0.67	1	0.33
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-

(次ページあり)

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	51		50		49		48	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	横ばいです	平年並みです	4.5	180	3.08	123	1	40	0.28	11
RSウイルス感染症	減少しています	平年並みです	0.46	11	0.58	14	0.58	14	0.38	9
咽頭結膜熱	横ばいです	平年並みです	0.29	7	0.25	6	0.08	2	0.13	3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	増加しています	流行しています	1.92	46	1.42	34	1.58	38	1.67	40
感染性胃腸炎	減少しています	たいへん流行しています	20.83	500	23.29	559	18.04	433	13.5	324
水痘	減少しています	平年より少ない発生数です	0.58	14	1.46	35	0.83	20	1.79	43
手足口病	横ばいです	平年並みです	0.17	4	0.25	6	0.17	4	0.29	7
伝染性紅斑	-	-	0.04	1	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	横ばいです	平年並みです	0.25	6	0.25	6	0.42	10	0.33	8
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	横ばいです	平年並みです	0.08	2	0.08	2	0.08	2	0.21	5
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.56	5	0.33	3	0.11	1	0.22	2
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	減少しています	平年並みです	0.2	2	0.7	7	0.6	6	0.3	3
クラミジア肺炎	減少しています	平年並みです	0.1	1	0.2	2	0.5	5	0.3	3

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
四類感染症	レジオネラ症	中北	男	73
五類感染症	麻しん	中北	女	2

感染症発生動向調査情報(週報)

2012年52週(12月24日～12月30日)

○ 山梨県内流行情報

感染性胃腸炎は、中北、峡東、富士・東部地域で警報レベルが続いており、年明け後も当分流行が続く見込みです。また、県内でもインフルエンザの集団感染が報告されておりますので、今後、さらに患者が増えることが予想されます。こまめな手洗いうがいを心がけ、体調管理に気をつけましょう。

○ 富士・東部管内流行情報

感染性胃腸炎の報告数は依然として多く、警報レベルが続いています。インフルエンザも流行入りしていますので、石けんによるこまめな手洗い、外出後のうがいを励行し、感染予防に努めましょう。

また、水痘(水ぼうそう)の定点当たり報告数が増加し、注意報レベル(4.00以上)となりました。予防方法としては、感染者との密接な接触を避けることが重要で、手洗いやうがいの心がけ、水痘ワクチンの接種(任意接種)も有効です。発疹、発熱等症状が現れたら、早めに医療機関を受診しましょう。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	15687	3.28	3770	1.23	1302	0.43	4668	1.53	34375	11.24	6183	2.02
山梨県	177	4.43	9	0.38	3	0.13	30	1.25	381	15.88	33	1.38
中北	83	6.38	5	0.63	2	0.25	2	0.25	180	22.5	2	0.25
中北峡北	51	6.38	1	0.2	-	-	14	2.8	40	8	3	0.6
峡東	32	4.57	1	0.25	-	-	4	1	65	16.25	8	2
峡南	7	2.33	-	-	-	-	-	-	13	6.5	-	-
富士・東部	4	0.44	2	0.4	1	0.2	10	2	83	16.6	20	4
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	912	0.3	154	0.05	1294	0.42	37	0.01	132	0.04	871	0.28
山梨県	2	0.08	-	-	4	0.17	-	-	-	-	-	-
中北	1	0.13	-	-	1	0.13	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	1	0.25	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	2	0.4	-	-	-	-	-	-
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	7	0.01	337	0.51	10	0.02	14	0.03	408	0.9	19	0.04
山梨県	-	-	2	0.22	-	-	1	0.1	4	0.4	2	0.2
中北	-	-	-	-	-	-	1	0.33	2	0.67	2	0.67
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	1	0.5	-	-	-	-	2	1	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	52		51		50		49	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	横ばいです	平年並みです	4.43	177	4.5	180	3.08	123	1	40
RSウイルス感染症	減少しています	平年並みです	0.38	9	0.46	11	0.58	14	0.58	14
咽頭結膜熱	減少しています	平年並みです	0.13	3	0.29	7	0.25	6	0.08	2
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	減少しています	平年並みです	1.25	30	1.92	46	1.42	34	1.58	38
感染性胃腸炎	減少しています	たいへん流行しています	15.88	381	20.83	500	23.29	559	18.04	433
水痘	増加しています	平年並みです	1.38	33	0.58	14	1.46	35	0.83	20
手足口病	横ばいです	平年並みです	0.08	2	0.17	4	0.25	6	0.17	4
伝染性紅斑	—	—	—	—	0.04	1	—	—	—	—
突発性発疹	やや減少しています	平年並みです	0.17	4	0.25	6	0.25	6	0.42	10
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	—	—	—	—	0.08	2	0.08	2	0.08	2
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.22	2	0.56	5	0.33	3	0.11	1
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	0.1	1	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	増加しています	平年並みです	0.4	4	0.2	2	0.7	7	0.6	6
クラミジア肺炎	増加しています	たいへん流行しています	0.2	2	0.1	1	0.2	2	0.5	5

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	中北	男	12
二類感染症	結核	中北	男	70
二類感染症	結核	中北	女	98